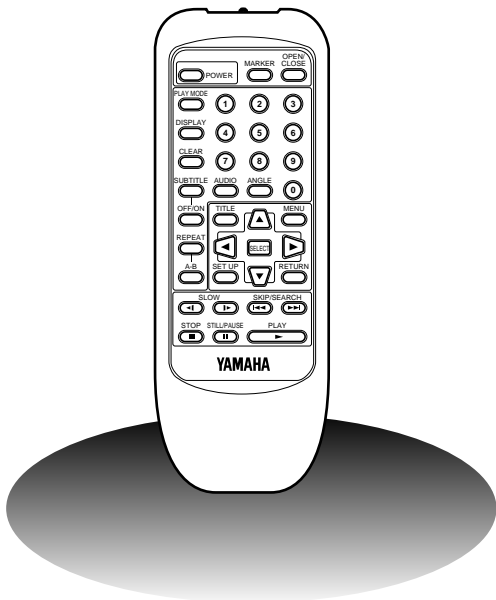
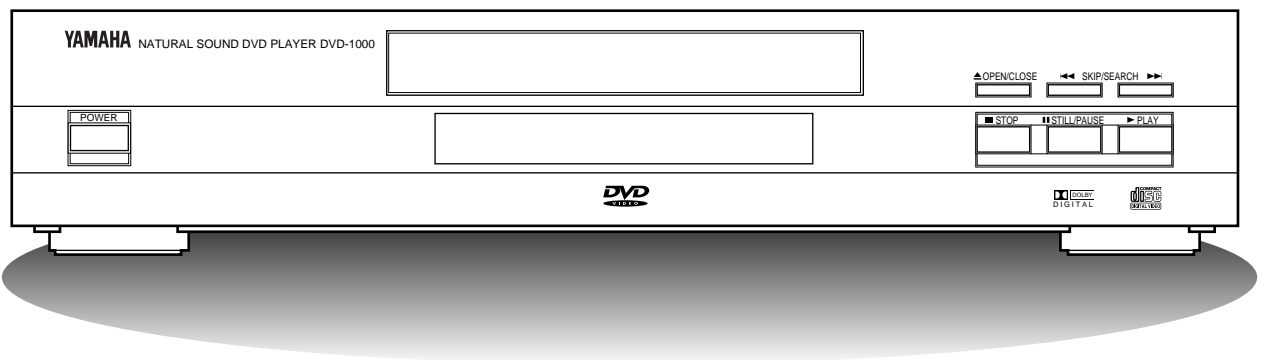


YAMAHA

NATURAL SOUND DVD PLAYER

DVD-1000

取扱説明書



このたびはヤマハ DVD プレーヤー DVD-1000 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

DVD-1000 の優れた性能を充分に発揮させるとともに、永年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずご使用前にお読みください。

また、お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、販売店名、購入日などがないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

本機は電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。












ご使用前に必ずお読みください。

安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。




この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告		この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
設置されるとき		使用中に異常が発生したとき	
	本機に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。 表示された電源電圧交流100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。		電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。	 	万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
ご使用になるとき			万一、本機を落としたり、キャビネットを損傷した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。 本機の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。	絵表示の例	
	本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。	 指を挟まれないよう注意	 分解禁止



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

設置されるとき		ご使用になるとき		
	<p>湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p> <p>電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点にご注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。 	 <p>接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p>付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>	 <p>指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>	 <p>指を挟まれないよう注意</p> <p>お子様がディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。</p>
	 <p>本機を設置する場合は、間隔をおいてください。放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまを開けてください。</p>	 <p>旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</p>	お手入れについて	
	 <p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 <p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</p>		

特長

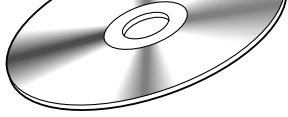
DVD ディスクはもちろん、ビデオ CD や音楽 CD も再生できます。
DVD ディスクを高音質、高画質、加えて多彩な機能で再生します。

デジタル高音質



48kHz/16bit ~ 96kHz/20bit のリニア PCM 音声により、音楽 CD よりも高音質の音声が楽しめます。
また、ドルビーデジタル (AC-3) デコーダーを搭載していますので、ドルビーデジタルサラウンドの臨場感あふれるサラウンド再生ができます。

デジタル高画質



大画面になるほど美しさが際立つ 500 本の水平解像度を実現、S-VHS ビデオやレーザーディスクよりも美しい映像がモニター画面に映し出されます。
* 水平解像度 S-VHS ビデオ：400 本 レーザーディスク：440 本

多彩な機能



マルチ音声
最大 8 カ国語の音声言語から、お好みの音声言語に切り換えて楽しむことができます。
(音声言語数は、DVD ソフトにより異なります)

マルチ字幕
最大 32 カ国語の字幕言語から、お好みの字幕言語に切り換えて楽しむことができます。
(字幕言語数は DVD ソフトにより異なります)

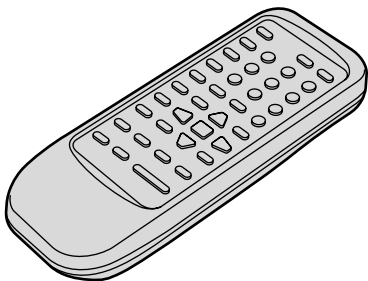
マルチアングル
見たいアングル (角度) に変えて楽しむことができます。
(複数のアングルが記録されている DVD ソフトに限ります)

マーカー
見たい場面を最大 3 カ所まで記憶できるので、好きなときに見たい画面を楽しむことができます。

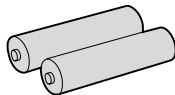
視聴制限
お子さまなどに見せたくない DVD ソフトを視聴制限を付けて再生できなくすることができます。
(視聴制限レベルが記録されている DVD ソフトに限ります)

付属品をお確かめください。

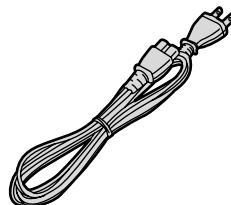
リモコン



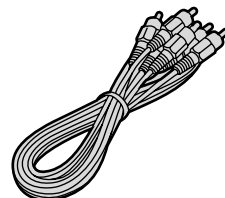
単 3 乾電池 2 本



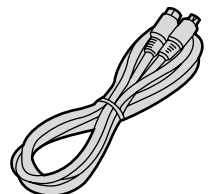
電源コード



映像/音声コード



S 映像コード



目次

使用上のご注意	6	ディスクについて	7
取扱いについて	6	各部の名称とはたらき	8
お手入れについて	6	本体（フロントパネル/リアパネル/ ディスプレイ）	8
結露について	6	リモコン	10
リモコンの準備	11	迫力と臨場感ある音声で楽しみたいとき	14
乾電池（付属）を入れる	11	- ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー対応6CH 入力端子付AVアンプと接続する -	15
リモコンの使用範囲	11	ドルビーデジタル(AC-3)対応以外の ステレオ装置と接続するとき	15
接続のしかた	12	- ステレオ装置と接続する -	16
テレビ（ステレオ音声）と接続する	12	ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー内蔵アンプや ドルビーデジタルデコーダーと接続する	16
テレビ（モノラル音声）と接続する	13	ドルビーデジタル(AC-3)デコーダーを内蔵して いない光デジタル入力端子付アンプと接続する	17
再生する	18	再生を止める	20
		早送り/早戻しする	20
		頭出しする	21
		静止（一時停止）する	21
		コマ送り再生する	21
		スロー再生する	21
		メニュー再生機能を使わない再生	21
好きなところを選び再生する（ダイレクト再生）	22	音声言語を切り換える（マルチ音声）	28
繰り返し再生する（リピート再生/A-Bリピート再生）	24	カラオケソフトのボーカルを「切」「入」する	28
繰り返し再生する（リピート再生）	24	字幕言語を切り換える（マルチ字幕）	29
指定した2点間を繰り返し再生する(A-Bリピート再生）	25	字幕を消す/表示する	29
好きな順に再生する（プログラム再生）	26	アングル(角度)を切り換える(マルチアングル)	30
再び見たい場面を記憶する（マーカー）	27	タイトルを切り換える	30
マークを付ける	27	DVDメニューを使う	31
マークを付けた場面を呼び出す/取り消す	27		
初期設定を変更する	32	故障かなと思ったら	36
視聴制限		サービス番号が表示されたら	37
音声の言語			
字幕の言語		参考仕様	38
接続するテレビ		言語番号一覧表	39
オンスクリーン		ヤマハホットラインサービスネットワーク	裏表紙
メニューの言語			
サラウンド設定			

使用上のご注意

取扱いについて

設置するときは

他の機器にあまり近づけない。

(テレビ放送に映像の乱れや雑音などが発生したときは、本機の電源を切ってください)

棚の上など、高いところには置かない。

使用するときは

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする。

(キャビネットの変形や塗装がはげるおそれがあります)

移動や輸送するときは

移動するときは、ディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す。

引っ越しなどで輸送するときは、購入時のパッキングケースに入れる。

移動や輸送するときは、落としたり、ぶつけない。

長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電源を切った状態でも、約 2.5 W の電力を消費しています)

お手入れについて

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

よごれはやわらかい布で軽くふき取る。

(よごれがひどいときは、布を水でうすめた台所用洗剤にひたし、よくしぼってからふく)

ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わない。



結露について

冬季などに、本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置している部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やピックアップレンズに露がつくことがあります。

露がついたままでは、ディスクの読みとりや正常の再生ができません。そのようなときは電源を入れたまま 1 ~ 2 時間放置し、露が消えてからご使用ください。

結露と同じ現象は、夏季のクーラーやエアコンの風が本機に直接当たるときにも起こることがあります。その場合は、本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてください。

ディスクケースから取り出したときに、ディスクに露がつくことがあります。そのようなときは、露を十分にふき取ってから本機にセットしてください。

ご注意

DVD や CD は従来のアナログレコードやテープ再生時のように再生前のノイズがほとんどありません。再生スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリューム位置にご注意ください。

このDVDプレーヤーは、国ごとに割り当てられたローカル番号がディスクに表示されている場合には、ディスクとDVDプレーヤーのローカル番号が一致しないと再生できません。

このDVDプレーヤーのローカル番号は **2** です。(LOCALE#2)

ディスクについて

再生できるディスク

次のマークの付いたディスクが再生できます。



DVD
[12 cm 盤 / 8 cm 盤]



ビデオCD
[12 cm 盤 / 8 cm 盤]



音楽CD
[12 cm 盤 / 8 cm 盤]

再生できないディスク

CD-ROM VSD CDV CD-G
DVDでローカル番号2以外のも
DVDでローカル番号2でもPAL方式のもの
CD-R、フォトCDは再生しないでください。

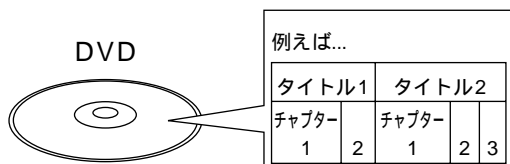
ディスクに関する用語の意味

タイトル (DVD)

例えば、2本の映画が収録されたディスクでは、タイトル1、2と番号で分けられています。

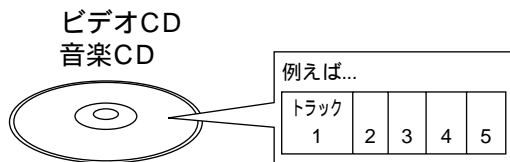
チャプター (DVD)

タイトルをさらに分けた区切りです。



トラック (ビデオCD / 音楽CD)

例えば、5曲の音楽が収録されたディスクでは、トラック1、2、3、4、5と番号で分けられています。



タイム (DVD)

ディスクの再生経過時間です。

ご注意

ディスクによってはタイムが表示されないものがあります。

本取扱説明書の見方について

DVD ビデオCD 音楽CD について

操作できるディスクの種類を表示しています。

DVD

DVD ディスク再生時に操作ができます。

ビデオCD

ビデオCD再生時に操作ができます。

音楽CD

音楽CD再生時に操作ができます。

「!」「!!」について

本機を操作中、テレビ画面に「!」や「!!」マークが出る場合があります。

「!」: 本機がその操作を禁止しています。

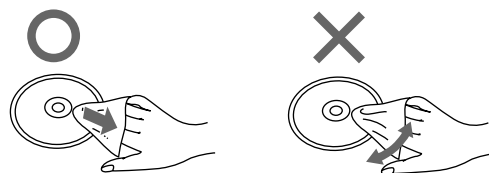
「!!」: ディスクがその操作を禁止しています。

本取扱説明書は、本機の基本的な操作方法を説明しています。再生するディスクによっては、本書の記載と操作内容や手順が異なるものがあります。そのような場合は、画面表示に従って操作してください。また、ディスクに付属の説明書もご参照ください。

ディスクの取扱い

ディスクの表面にふれたり、文字を書いたりしない。

ディスクに付いたほこりやごみ、指紋はやわらかい布でふく。必ず内から外へふく。



よごしたり、傷つけたりしない。

直射日光の当たるところや、温度・湿度の高いところに置かない。

落としたり、曲げたりしない。

CD用スタビライザーを使用しない。

保管するときは、専用のケースに入れる。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

各部の名称とはたらき

フロントパネル

POWER ボタン
電源をオン/オフします。

リモコン受信窓
ここに向けてリモコンを操作します。
(11 ページ)

スキップサーチ
SKIP/SEARCH ボタン
映像や音楽を頭出ししたり、
早送り/早戻しします。(20 ページ)
◀◀ : 戻し方向
▶▶ : 送り方向

オープンクローズ
OPEN/CLOSE ボタン
トレイを開閉します。
(19 ページ)



トレイ

ストップ
STOP ボタン
再生を止めます。

ブレイ
PLAY ボタン
再生します。

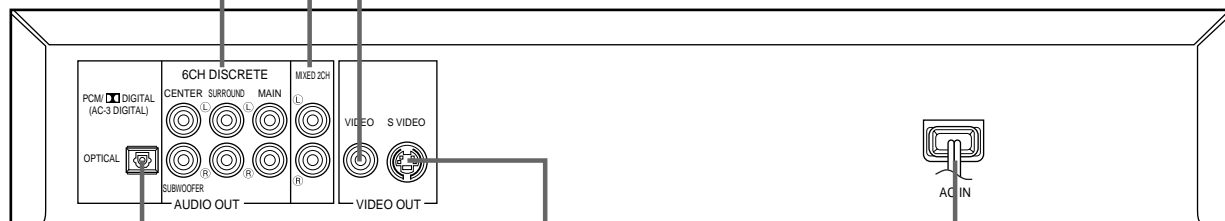
スティルポーズ
STILL/PAUSE ボタン
映像や音楽を一時的に止めたり、
コマ送りをします。(21 ページ)

リアパネル

チャンネル ディスクリット
6CH DISCRETE 音声出力端子
別売の音声コードを接続する。

ミックスドチャンネル
MIXED 2CH 音声出力端子
付属の映像/音声コード(赤・白)を接続する。

ビデオ
VIDEO 出力端子
付属の映像/音声コード(黄)を接続する。



オプティカル
OPTICAL 音声出力端子
別売の光デジタルケーブルを
接続する。

ビデオ
S VIDEO 出力端子
付属のS映像コードを
接続する。

AC IN (電源入力) 端子
付属の電源コードを接続する。

ディスプレイ


このようなとき	こんな表示が出ます	参照ページ
トレイを開けたとき	OPEN	19 ページ
トレイを閉めようとしたとき	CLOSE	19 ページ

このようなとき	こんな表示が出ます	参照ページ
トレイを閉めたとき		
DVD が入っていれば	例	収録総タイトル数
ビデオ CD が入っていれば	例	プレイバックコントロール付きビデオ CD のとき点灯
音楽 CD が入っていれば	例	収録総トラック数
ディスクが入っていなければ	NO DISC	収録トラック番号 収録時間


ディスクを再生しているとき	こんな表示が出ます	参照ページ
DVD の場合	例	タイトル 6 の CHAPTER 5 を再生 再生の終わった番号は消えていく ▶ : 15 以上の CHAPTER / トラックを収録もしくは再生しているとき点灯
ビデオ CD の場合	例	
ビデオ CD メニュー再生の場合	例	メニュー再生 18 ページ
音楽 CD の場合	例	
再生できない場合	NO PLAY	

初期設定「視聴制限」で再生を禁止されている DVD 32 ページ
ローカル番号 2 以外の DVD 7 ページ
PAL 方式の DVD 7 ページ


続き再生メモリー機能が働いているとき
20 ページ




ディスク全体のリピート再生をしているとき
24 ページ




静止 / 一時停止をしているとき
21 ページ




A-B リピート再生をしているとき
25 ページ




タイトル / CHAPTER / トラックのリピート再生をしているとき
24 ページ



プログラム再生をしているとき
26 ページ



アングルの切り換えができるとき
30 ページ



各部の名称とはたらき

リモコン

□で表示されたボタンは主に再生するときを使用します。その他のボタンは機能を使うときに使用します。

パワー
POWER ボタン
電源を「切」「入」する。

マーカー
MARKER ボタン
再び見たいところを記憶する。
(27 ページ)

オープン/クローズ
OPEN/CLOSE ボタン
トレイを出し入れする。
(19 ページ)

リモコン送信窓

プレイモード
PLAY MODE ボタン
「通常再生」「プログラム再生」に切り換える。(26 ページ)

ディスプレイ
DISPLAY ボタン
再生状態を表示する。
(22 ページ)

クリア
CLEAR ボタン
入力された数字を取り消す。

サブタイトル
SUBTITLE ボタン
DVD の字幕言語を切り換える。
(29 ページ)

オフ オン
OFF/ON ボタン
字幕の表示を「切」「入」する。
(29 ページ)

リピート
REPEAT ボタン
繰り返し再生をする。
(24 ページ)

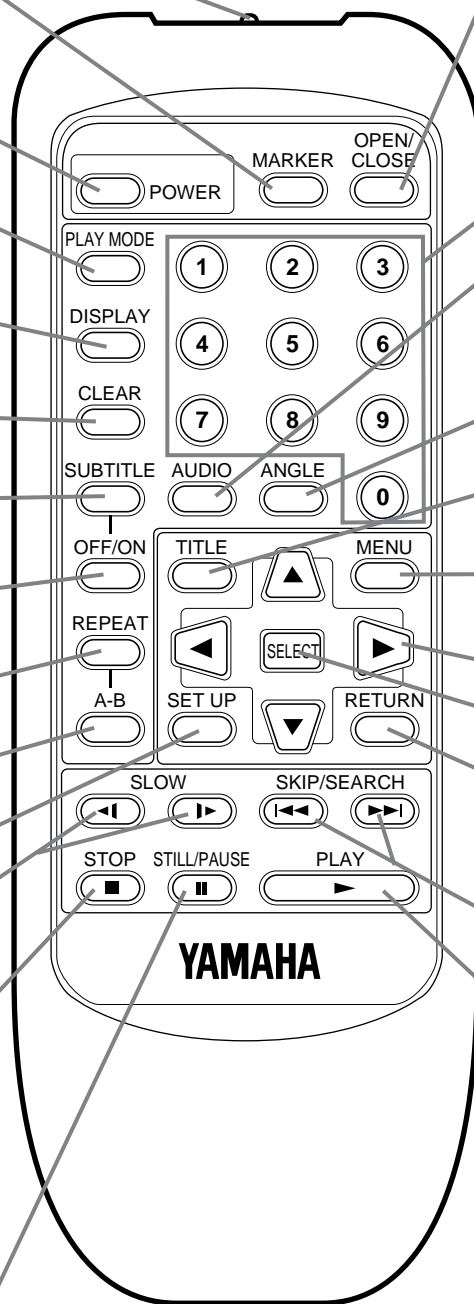
A - B ボタン
指定した 2 点間の繰り返し再生をする。(25 ページ)

セットアップ
SET UP ボタン
初期設定画面を表示する。
(32 ページ)

スロー
SLOW ボタン
ゆっくりと再生する。
◀ : 戻し方向
▶ : 送り方向
(21 ページ)

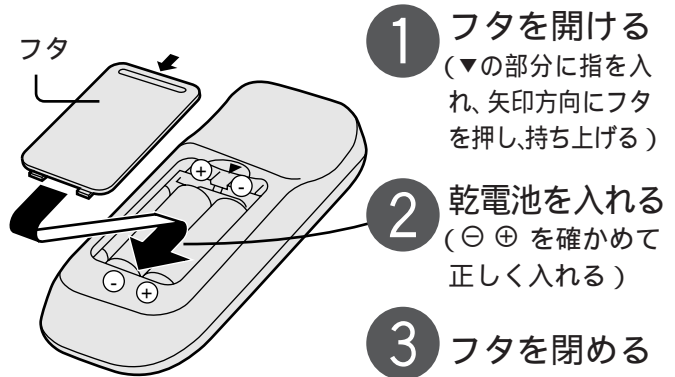
ストップ
STOP ボタン
映像や音楽を止める。

スティルポーズ
STILL/PAUSE ボタン
映像や音楽を一時的に止めたり、コマ送りする。
(21 ページ)



リモコンの準備

乾電池（付属）を入れる



- 1 フタを開ける
(▼の部分に指を入れ、矢印方向にフタを押し、持ち上げる)
- 2 乾電池を入れる
(⊖ ⊕ を確かめて正しく入れる)
- 3 フタを閉める

乾電池の寿命は約 1 年です

リモコンを本体の近くで操作しても働かないときは交換してください。

乾電池は単 3 形 (R 6 P) を使ってください。

ご注意

ニッケルカドミウム

充電式電池 (Ni-Cd) は使わない。

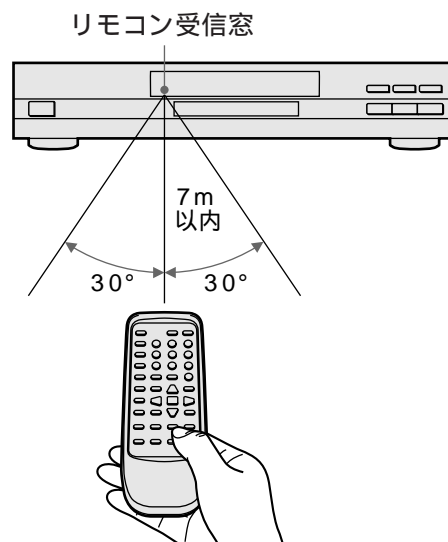
落としたり、衝撃を与えたり、足で踏んだりしない。
(部品がこわれたりして、故障の原因になります)

長期間使わないときは、乾電池を取り出しておく。

(液もれが起こり、故障の原因になります)

液もれが起こったときは、リモコン内部について液をよくふき取ってから新しい電池を入れる。
液が体についたときは、水でよく洗い流す。

リモコンの使用範囲



ご注意

リモコン受信窓に強い光を当てない。

リモコンとリモコン受信窓の間に物を置かない。

他の機器のリモコンと同時に使わない。

数字ボタン

オーディオ

AUDIO ボタン

DVD の音声言語を切り換える。または、カラオケソフトのボーカルを「切」「入」する。ビデオCDのときは、「ステレオ」「L」「R」に切り換える。(28 ページ)

アングル

ANGLE ボタン

アングル(角度)を切り換える。(30 ページ)

タイトル

TITLE ボタン

ディスクに収録されているタイトルメニューを表示する。(30 ページ)

メニュー

MENU ボタン

ディスクに収録されている DVD メニューを表示する。(31 ページ)

◀▶ (カーソル) ボタン

セレクト

SELECT ボタン

操作内容を決定する。

リターン

RETURN ボタン

メニューを 1 つ手前に戻す。

スキップ/サーチ

SKIP/SEARCH ボタン

映像や音楽を頭出ししたり、早送り/早戻しする。

◀◀ : 戻し方向

▶▶ : 送り方向

(20 ページ)

プレイ

PLAY ボタン

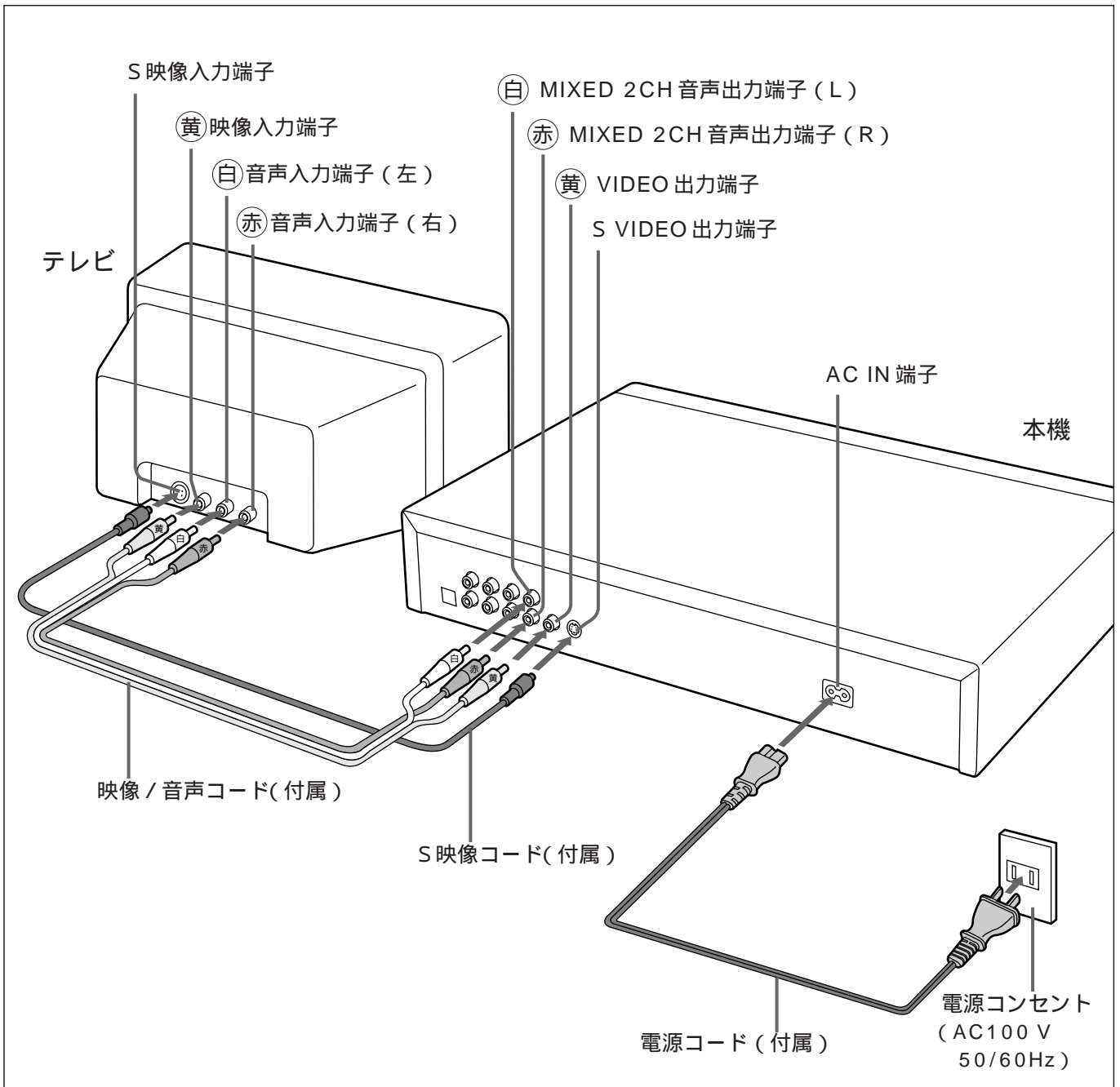
再生する。(19 ページ)

接続のしかた

接続する前に

本機および接続する機器の電源を「切」にしてください。
接続する機器の説明書もお読みください。
音声を楽しむときは、14、16 ページをお読みください。

テレビ（ステレオ音声）と接続する



S 映像出力端子とは

S（セパレート）映像出力端子は、カラー（C）信号と輝度（Y）信号を分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。

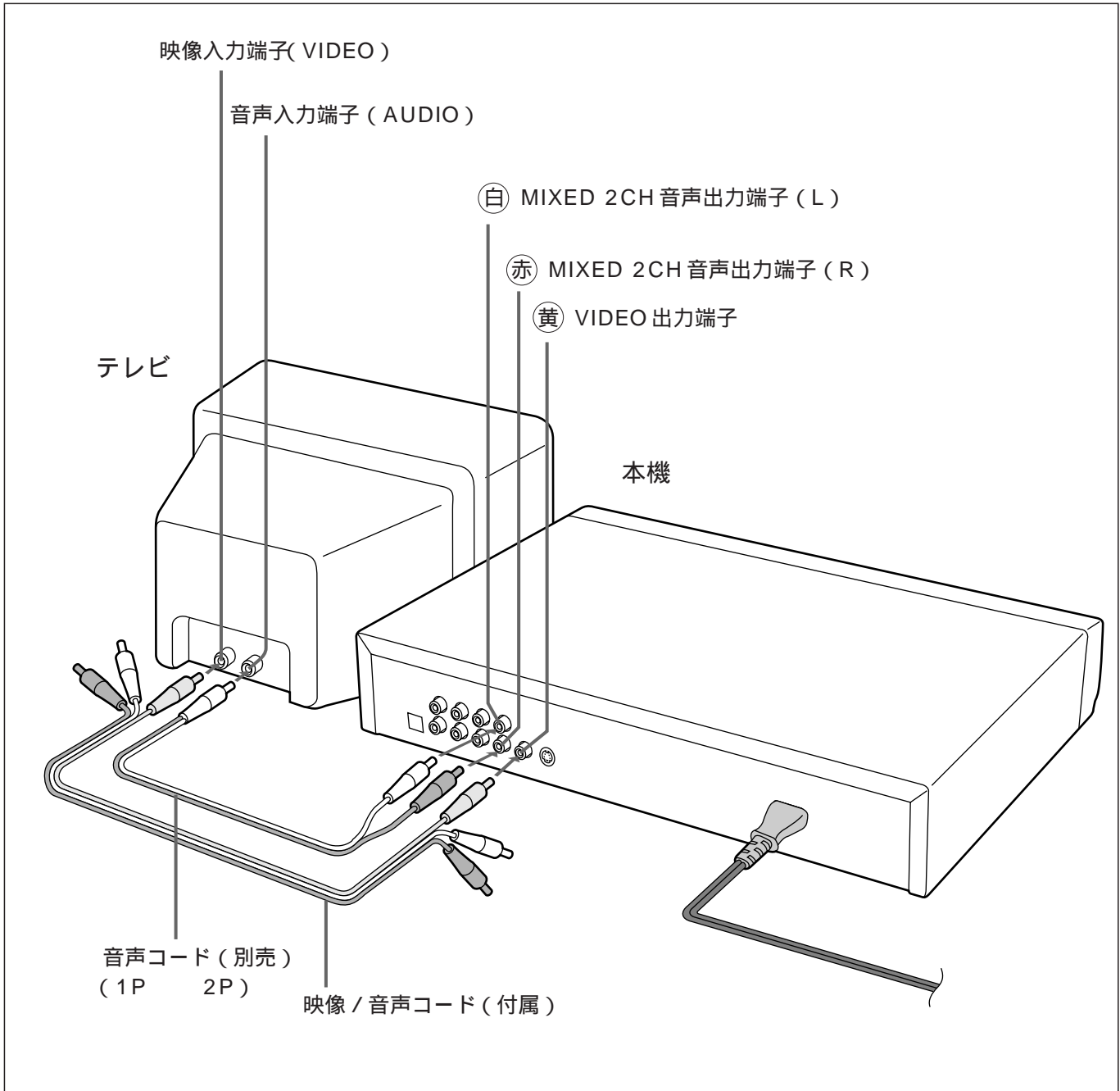
S 映像入力端子付きテレビには、S 映像コード（付属）の接続をおすすめします。

ご注意

本機はマクロビジョン方式のコピーガードシステムに対応しています。

本機の映像を、ビデオデッキを経由してテレビで再生するような接続をしますと、コピーガード信号の入った DVD ディスクは、再生する画面が乱れることがありますので、ビデオデッキ経由で接続しないでください。

テレビ（モノラル音声）と接続する



ご注意

DVD を再生したときの音量は、テレビ放送などと比較して音量が下がることがあります。この場合、お好みの音量に調整してお楽しみください。

接続のしかた

迫力と臨場感ある音声で楽しみたいとき

— ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー対応6CH入力端子付AVアンプと接続する —

本機はドルビーデジタル(AC-3)デコーダーを内蔵しています。市販のドルビーデジタル(AC-3)デコーダーがなくても、ドルビーデジタルサラウンドで収録されたDVDを再生することができます。ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー対応6CHディスクリット入力端子付AVアンプに接続することで、ドルビーデジタルサラウンドで収録されたDVDを映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。

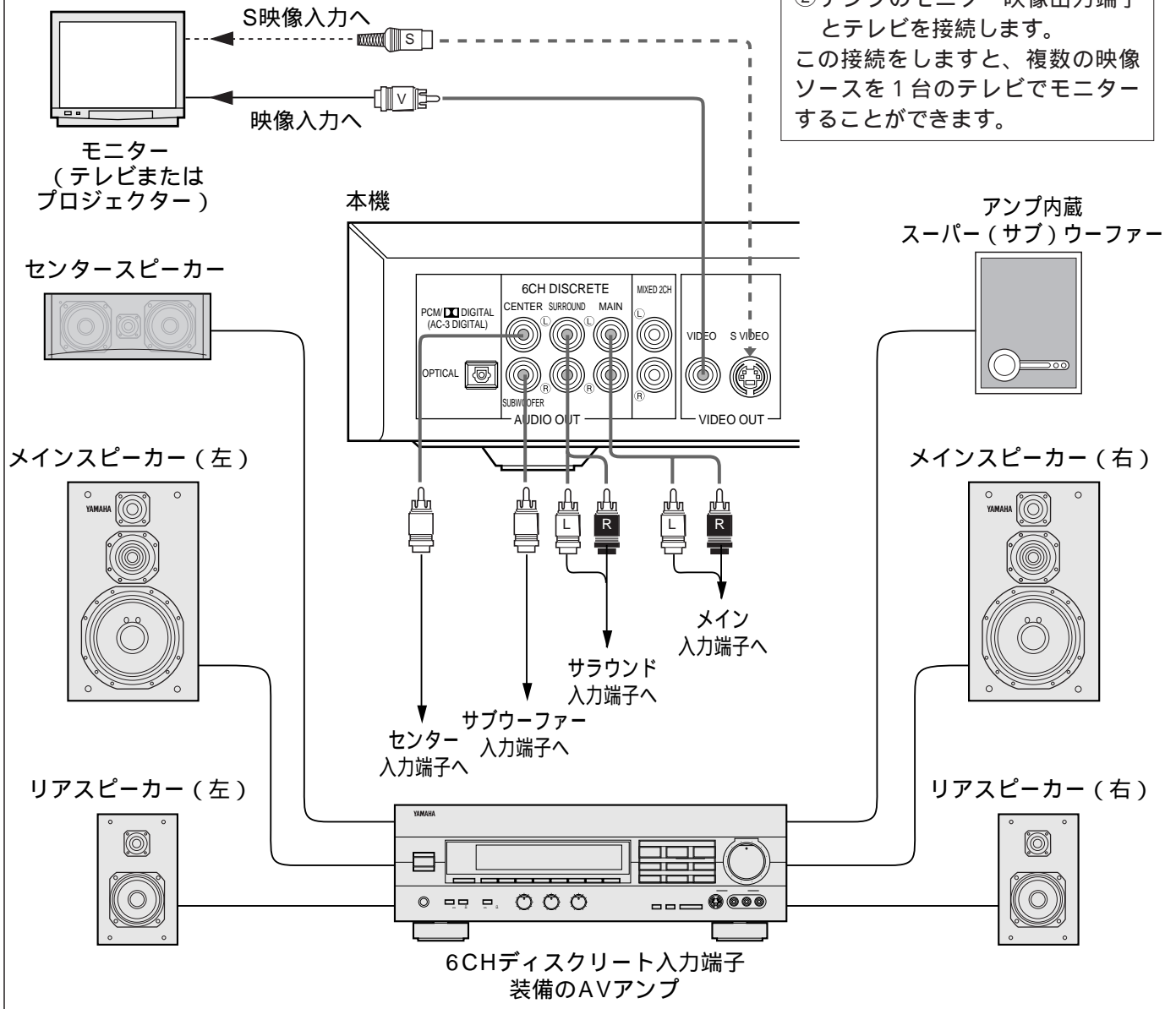
テレビの接続について

接続するアンプにモニター映像出力端子がある場合は、

① 本機のVIDEO(S VIDEO)端子とアンプのDVD/LD映像入力端子を接続します。

② アンプのモニター映像出力端子とテレビを接続します。

この接続をしますと、複数の映像ソースを1台のテレビでモニターすることができます。



ドルビーデジタル(AC-3)とは
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術です。ステレオ(2ch)はもちろん、6chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、Dolby、AC-3 および DD (ダブルD記号) は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。著作権 1992 年ドルビーラボラトリーズインコーポレーテッド。不許複製。

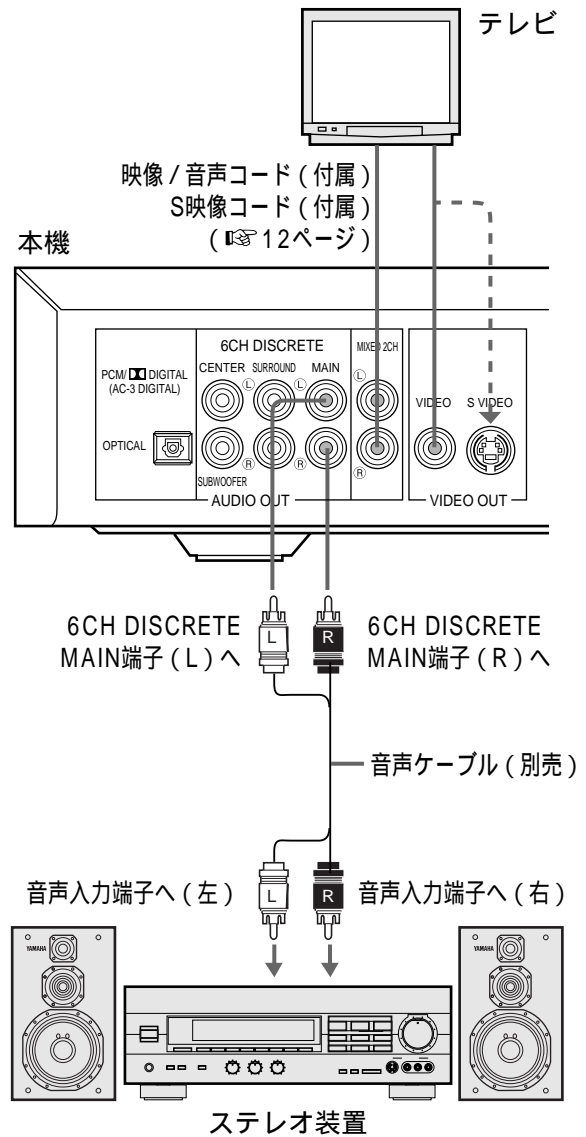
ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー対応6ch入力端子付AVアンプと接続したときお使いになるスピーカーシステムによって初期設定(☞ 32 ページ)の「サラウンド設定」を以下のように設定してください。

- センタースピーカーをお使いにならない場合
センタースピーカーを「なし」とする。
- サラウンドスピーカーをお使いにならない場合
サラウンドスピーカーを「なし」とする。
- サブウーハーをお使いにならない場合
サブウーファを「なし」とする。

スピーカーシステムの配置について
サラウンドスピーカーは、お聞きになる位置からフロントスピーカーまでの距離と同じか、その距離より長い位置に配置することで、よりサラウンド効果を得ることができます。

ドルビーデジタル(AC-3)で収録されたDVDカラオケを演奏したとき
初期設定(☞ 32 ページ)の「サラウンド設定」をサラウンドスピーカー「あり」に設定した場合、音声出力(フロント)端子からは伴奏とボーカルが出力されますが、音声出力(サラウンド)端子からは出力されません。

ドルビーデジタル(AC-3)対応以外のステレオ装置と接続するとき — ステレオ装置と接続する —



ステレオ装置と接続したとき
初期設定(☞ 32 ページ)の「サラウンド設定」を以下のように設定してください。

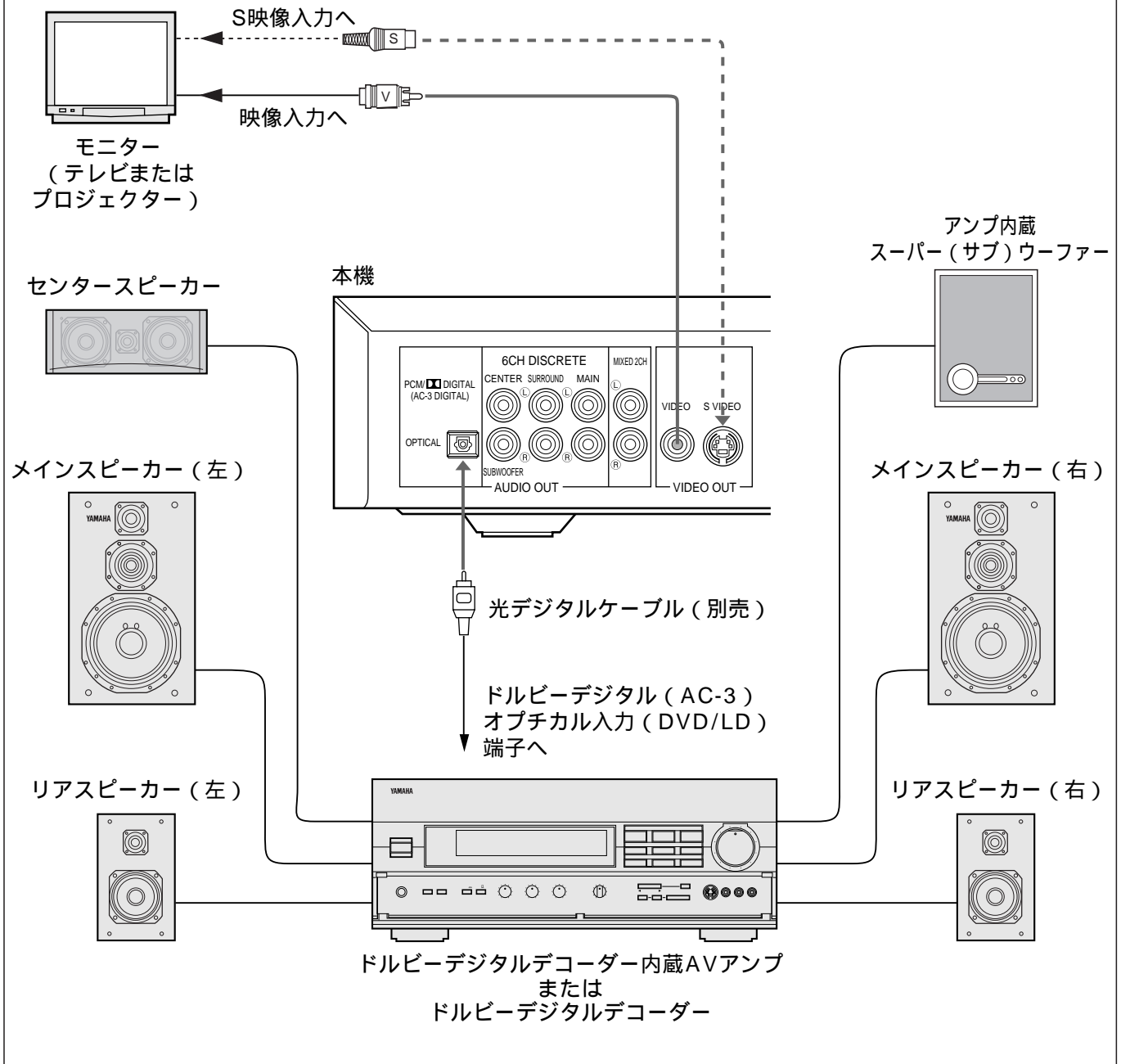
- センタースピーカー 「なし」
- サラウンドスピーカー 「なし」
- サブウーファ 「なし」

ドルビープロロジックデコーダーと接続したとき
ドルビーデジタルサラウンドで収録されたDVDをドルビープロロジックサラウンドで楽しむことができます。サラウンド音声を楽しむときは、センタースピーカー、サラウンドスピーカーが必要となります。

接続のしかた

ドルビーデジタル (AC-3) デコーダー内蔵アンプや ドルビーデジタルデコーダーと接続する

ドルビーデジタルサラウンドで収録されたDVDの再生時は、本機の光デジタル音声出力端子からドルビーデジタルのビットストリームが出力されます。ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプやドルビーデジタルデコーダーに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。



OPTICAL 音声出力端子とは

OPTICAL 音声出力端子は、電気信号を光信号に変えてアンプに伝えるため、「外部からの電気的な影響を受けない」「雑音の発生を防ぎ外部への影響も少ない」などの特長があります。

テレビの接続について

接続するアンプにモニター映像出力端子がある場合は、
① 本機の VIDEO (S VIDEO) 端子とアンプの DVD/LD 映像入力端子を接続します。
② アンプのモニター映像出力端子とテレビを接続します。
この接続をしますと、複数の映像ソースを1台のテレビでモニターすることができます。

ドルビーデジタル(AC-3)デコーダーを内蔵していない光デジタル入力端子付アンプと接続する

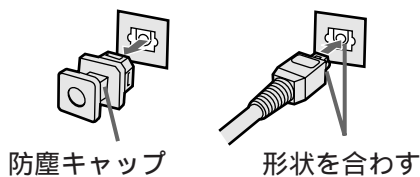
デジタル音声出力について

本機の光デジタル音声出力端子 (PCM/DIGITAL) からは、再生するディスクによって、ドルビーデジタル(AC-3)もしくはリニアPCMが出力されます。(下表参照)

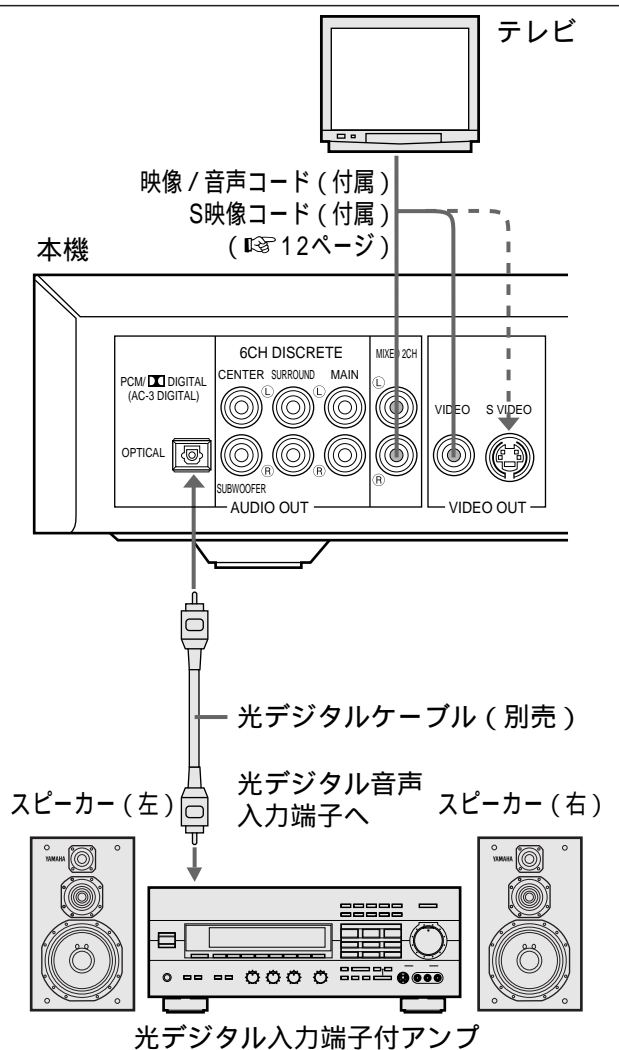
再生するディスク	音声記録方式	光デジタル音声出力
DVD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタルのビットストリーム
	リニアPCM	リニアPCM (48kHz サンプリングのみ)
音楽CD	リニアPCM	リニアPCM (44.1kHz サンプリング)
ビデオCD	MPEG	リニアPCM (44.1kHz サンプリング)

DVDの96kHzサンプリングの音声は、本機の光デジタル音声出力端子から出力されません。

光デジタルケーブルを接続するときは防塵キャップを外し、形状を合わせて、奥までしっかりと差し込んでください。



防塵キャップは紛失しないよう保管し、端子を使わないときは、ほこりが付かないようキャップを付けてください。



音楽CD / ビデオCDは通常通りお使いになれます。

DVDの場合はご注意ください
上記の接続例では、DVDは再生しないでください。DVDを再生すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。DVDを上記の接続例でお使いになるときは、アンプの電源を入れないでください。

準備

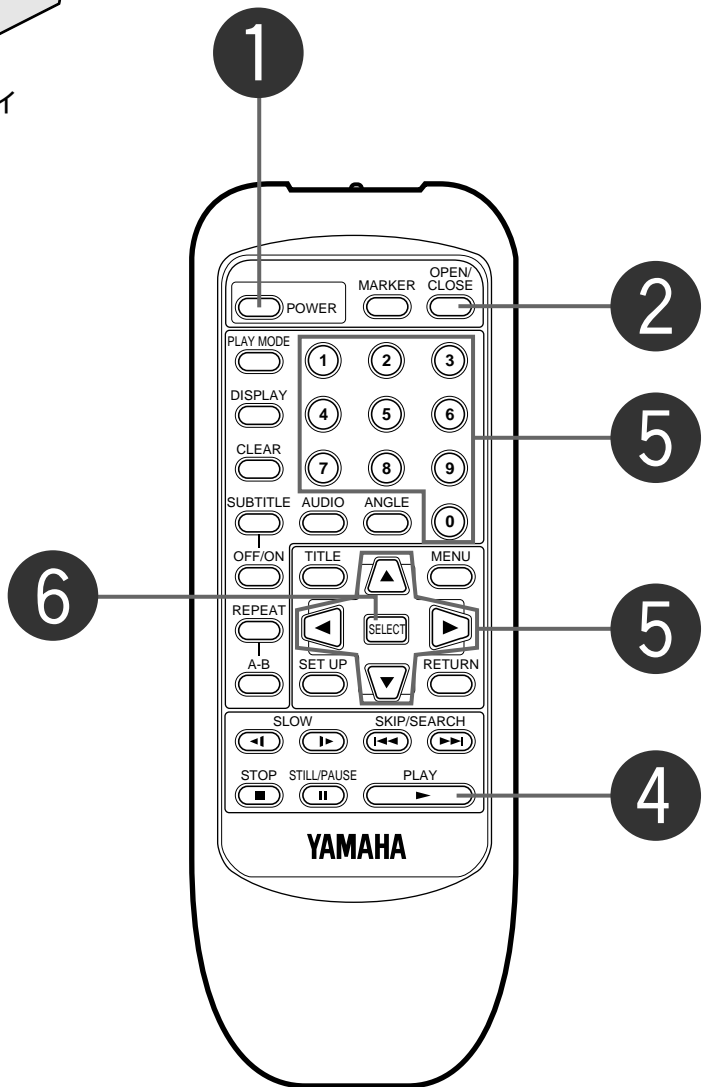
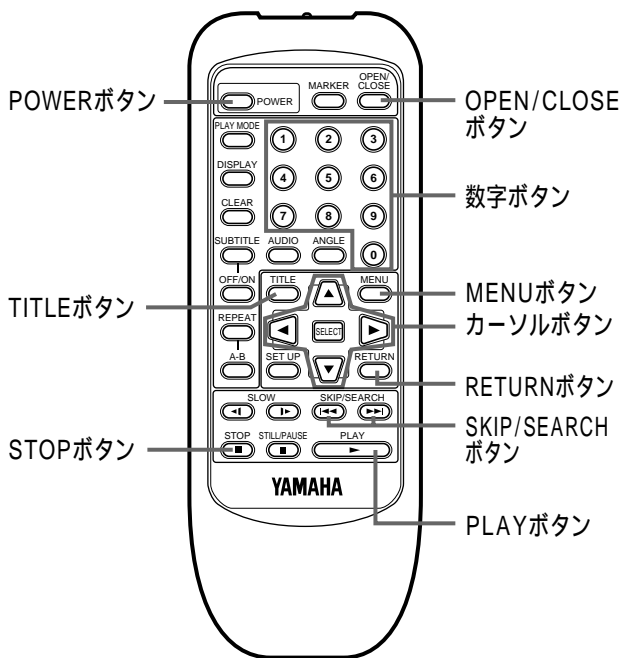
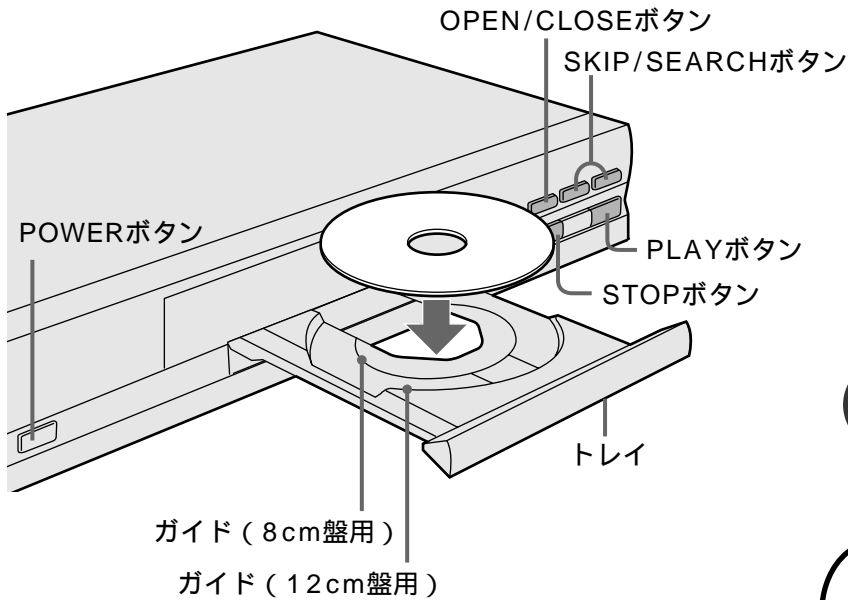
リニアPCM音声とは

音楽CDに用いられている信号記録方式です。音楽CDでは、44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは、48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されています。

再生する

準備

テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
ステレオセットなどと接続しているときは、それらの電源を入れる。



プレイバックコントロールとは

「プレイバックコントロール付き」などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を対話形式で選ぶことができます。

(19 ページ⑥の手順を参照)

19 ページの手順⑤⑥を用いて、再生することをビデオCDの“メニュー再生”と呼びます。

ご注意

ボタン操作中、テレビ画面に

“！”が出たときは、本機がその操作を禁止しています。

“！！”が出たときは、ディスクがその操作を禁止しています。

1 POWER ボタンを押す (本機の電源が入ります)

2 OPEN/CLOSE ボタンを押す (トレイが出ます)

テレビ画面の表示

オープン

3 ラベル印刷面を上にして、トレイにディスクを置く

4 PLAY ボタンを押す (自動的にトレイが閉まり、再生が始まります)

クローズ

OPEN/CLOSE ボタンを押してトレイを閉めたときは、PLAY ボタンを押してください。

メニュー画面が表示された場合
メニュー記録されたDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDは、メニュー画面が表示されます。

⑤⑥の手順で見たい項目を選び、再生を始めてください。

例)メニュー記録されたDVDのとき

タイトルメニュー

地理 自然

歴史 都市

例)プレイバックコントロール付きビデオCDのとき

1 東アジア

2 南アジア

3 中近東

4 アフリカ

5 ヨーロッパ

5 カーソルボタンまたは数字ボタンで、見たい項目を選ぶ

SKIP/SEARCH ボタンを押すと、メニューの続きがある場合、続きのメニューを表示します。(操作に関してはディスクのジャケットもご参照ください)

ビデオCDのときは、カーソルボタンが使いません。数字ボタンで見たい項目を選んでください。

例)“都市”を選んだとき

タイトルメニュー

地理 自然

歴史 都市

例)“中近東”を選んだとき

1 東アジア

2 南アジア

3 中近東

4 アフリカ

5 ヨーロッパ

6 SELECT ボタンを押す

(見たい項目が決定され、再生が始まります)

DVD 再生中はTITLE、MENU またはRETURN ボタンを、ビデオCD 再生中は、RETURN ボタンを押すと、メニュー画面に戻すことができます。

(操作はディスクにより異なります)

例)

世界の
都市

例)

世界地図
中近東

再生が終了したときは

続けて再生しないときは、節電のため、POWER ボタンを押して、本機の電源を切ってください。

電源を切らなくても、停止状態で約30分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。

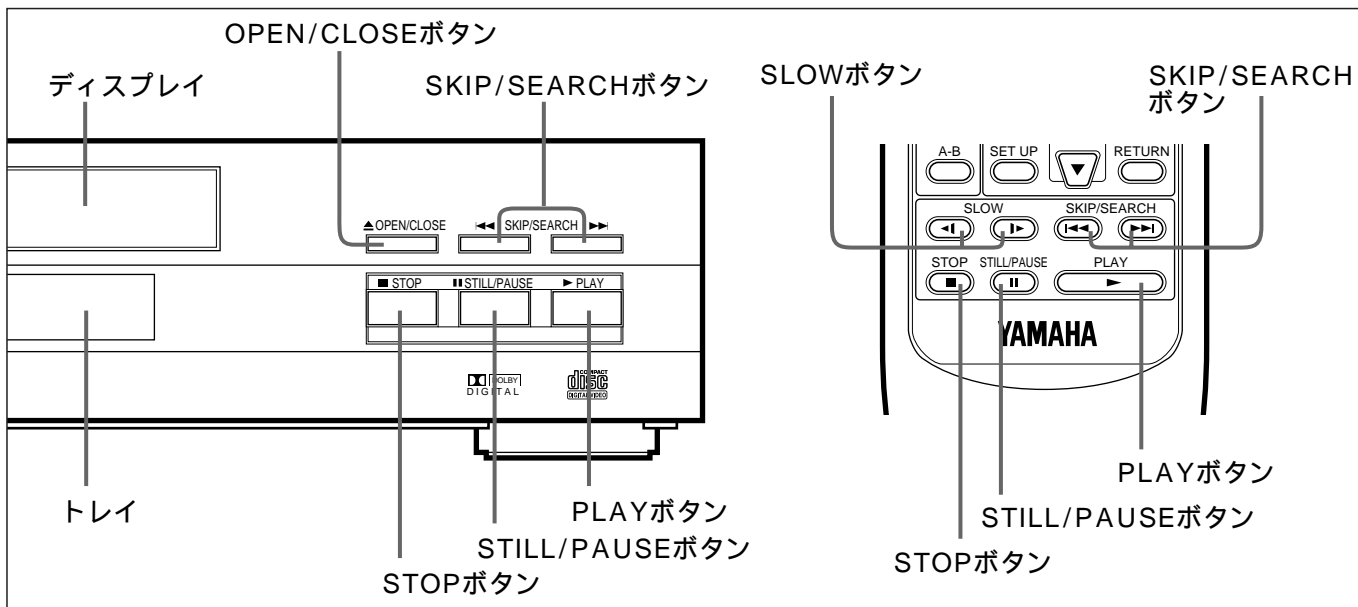
(オートパワーオフ)

ご注意

ディスクは、ガイドに合わせて置いてください。トレイには、2枚以上のディスクをのせないでください。

テレビ画面にメニューが出ている間は、ディスクは回り続けています。続けて再生しないときは、STOP ボタンを押してください。

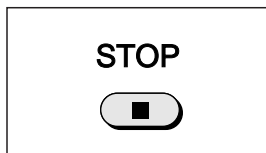
再生する (つづき)



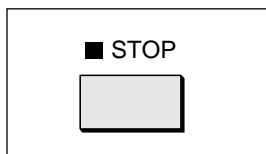
再生を止める

再生中、
STOP ボタンを押す

リモコン操作のとき



本体操作のとき



続き再生メモリー機能について

本機は、再生中に STOP ボタンを押すと、途中で止めたところを記憶します。

STOP ボタンを押した後、PLAY ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

STOP ボタンを押した後、トレイを開けるか、もう一度、STOP ボタンを押すと、続き再生メモリー機能は解除されます。

続き再生メモリー機能は、再生中、ディスプレイに再生経過時間が表示されているディスクにのみ働きます。続き再生メモリー機能が働いているときは、電源を「切」「入」しても解除しません。

早送り / 早戻しする

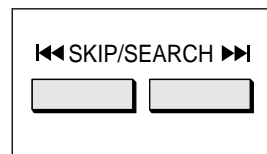
再生中、
SKIP/SEARCH ボタン
を押し続ける

リモコン操作のとき



◀◀ : 戻し方向
▶▶ : 送り方向

本体操作のとき



押し続けて約 5 秒間は低速、その後高速になります。指を離すと、通常の再生に戻ります。

ご注意

ビデオCDのメニュー再生中、SKIP/SEARCH ボタンを押すと、メニュー画面に戻る場合があります。

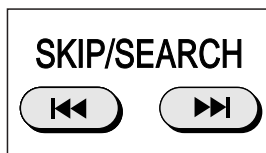
頭出しする

再生中、
SKIP/SEARCH ボタン
をポンと押す

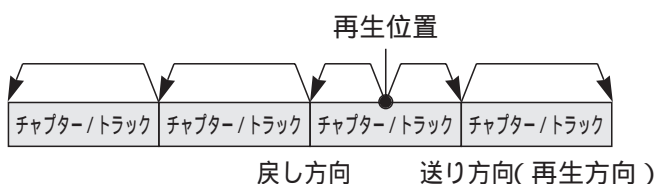
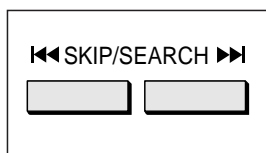
◀◀ : 戻し方向
▶▶ : 送り方向

押した回数だけ場面や曲を
とびこします。
戻し方向に 1 回押すと、
再生中のチャプター/
トラックの先頭に戻ります。

リモコン操作のとき



本体操作のとき



ご注意

ビデオCDのメニュー再生中、SKIP/SEARCH ボタンを押すと、メニュー画面に戻る場合があります。

静止 (一時停止) する

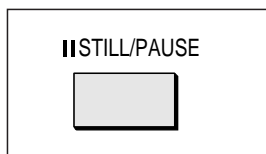
再生中、
STILL/PAUSE ボタン
を押す

PLAY ボタンを押すと、
通常の再生に戻ります。

リモコン操作のとき



本体操作のとき



コマ送り再生する

DVD

ビデオCD

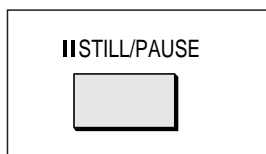
静止中、
STILL/PAUSE ボタン
を押す

押すたびに、
1 コマずつ再生します。
PLAY ボタンを押すと、
通常の再生に戻ります。

リモコン操作のとき



本体操作のとき



スロー再生する

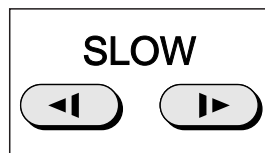
DVD

ビデオCD

再生または静止中、
SLOW ボタンを押す

◀: 戻し方向
▶: 送り方向

リモコン操作のみ



STILL/PAUSE ボタンを
押すと、静止します。
PLAY ボタンを押すと、
通常の再生に戻ります。

ご注意

DVDの逆スロー再生は、不連続コマ戻しとなります。
ビデオCDは逆スロー再生できません。

メニュー再生機能を使わない再生

ビデオCD

1 メニュー画面表示中 (19 ページ^④参照)、
STOP ボタンを押す

(ディスプレイの“PBC”が消えます)

2 数字ボタンで、
希望のトラック番号を入力する

トラック番号は、ディスクのジャケット
などを参照してください。

3 PLAY ボタンを押す

(再生が始まります)

“メニュー再生”に戻すときは
STOP ボタンを押して、再生を止め、MENU ボタン
を押してください。
(ディスプレイの“PBC”が点灯し、テレビ画面
にメニューが表示されます)
19 ページ^{⑤⑥}の手順を行ってください。

好きなところを選び再生する (ダイレクト再生)

ディスクに記録されているタイトル/チャプター/トラック/タイムを使って、見たい(聞きたい)ところを選び再生することができます。

DVD のとき

DISPLAYボタン

PLAYボタン

1 再生中、TITLE、MENU または RETURN ボタンを押す (メニュー画面が表示されます) ディスクにより機能するボタンが異なります。

テレビ画面の表示
例)メニュー記録されたDVDのとき

タイトルメニュー	
地理	自然
歴史	都市

2 カーソルボタン または 数字ボタンで、見たい項目を選ぶ

例)“都市”を選んだとき

タイトルメニュー	
地理	自然
歴史	都市

3 SELECT ボタンを押す (見たい項目が決定され、再生が始まります)

例)

世界の
都市

DVD の場合、以下の方法でダイレクト再生することもできます。

- ① 再生中、DISPLAY ボタンを押す (現在の再生状態が表示されます) もう一度押すと、表示が消えます。

タイトル 1 チャプター 6

 タイム 38:20

- ② カーソルボタンで、タイトル/チャプター/タイムのいずれかを選ぶ

(例) チャプターを選んだとき

 タイトル 1 チャプター 6

 タイム 38:20

(例) タイムを選んだとき

 タイトル 1 チャプター 6

 タイム 38:20

- ③ 数字ボタンで番号を変更する

(例) チャプター番号を 12 に変更するときは ① ② を押す

 タイトル 1 チャプター 12

 タイム 38:20

(例) タイムを 43:15 に変更するときは ④ ③ ① ⑤ を押す

 タイトル 1 チャプター 6

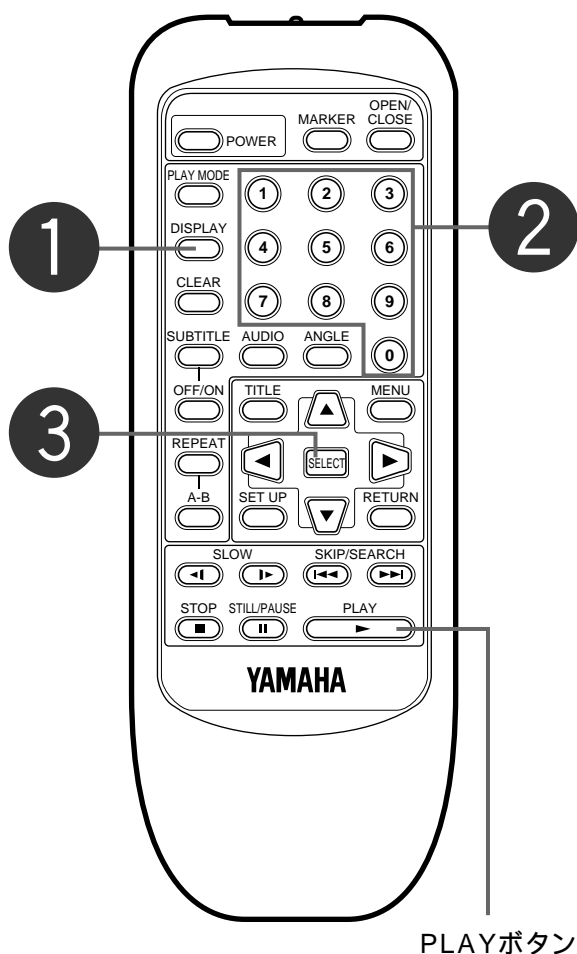
 タイム 43:15

- ④ SELECT ボタンを押す
PLAY ボタンを押しても再生が始まります。タイトルを変更したときは、自動的にそのタイトルのチャプター 1 から再生が始まります。

ご注意

ディスクにより、ディスクのジャケットなどに書かれている番号 (メニュー画面に表示される番号) と画面表示ボタンで指定できるタイトル番号とは一致しないときがあります。

ビデオCD / 音楽CD のとき



1

再生中、
DISPLAY ボタン
を押す(現在の再生状態が表示
されます)もう一度押すと、表示が
消えます。

テレビ画面の表示

トラック 1

タイム 3:20

2

数字ボタンで、
番号を変更する

トラック 3

タイム 3:20

番号は、ディスクのジャケットなどを参照
してください。

3

SELECT ボタンを押す

(指定したところから再生が始まります)

ご注意

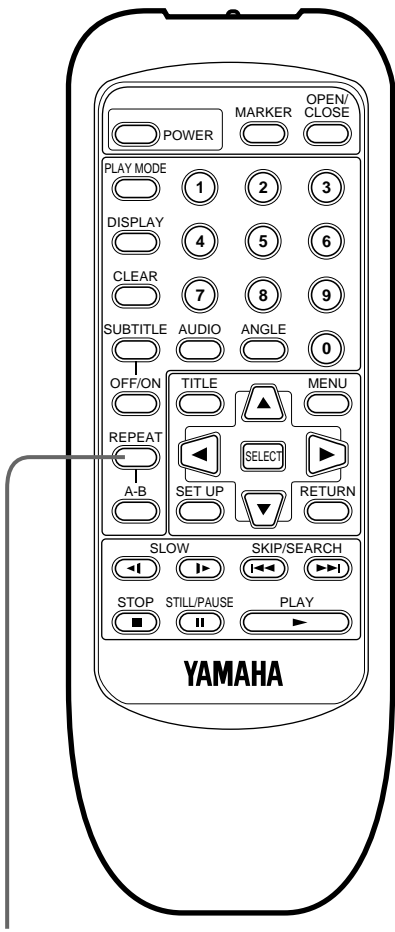
ディスクにない番号に変更すると、テレビ画面に「選択された番号はありません」と表示されます。DVDの場合、タイムを変更し、PLAY ボタンを押しても、受け付けられないものがあります。再生中、ディスプレイに再生経過時間が表示されていないDVDは、タイムの変更ができません。

DVDのメニュー再生中は、ディスクによってはダイレクト再生できない場合があります。ビデオCDのメニュー再生中は、ダイレクト再生できません。ビデオCDや音楽CDの場合、タイムは選べません。(トラック番号のみ)

繰り返し再生する (リピート再生 / A - Bリピート再生)

映像や音声を、繰り返して再生することができます。

繰り返し再生する (リピート再生)

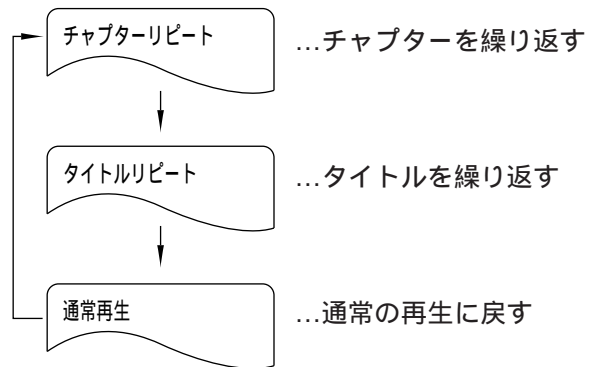


REPEATボタン

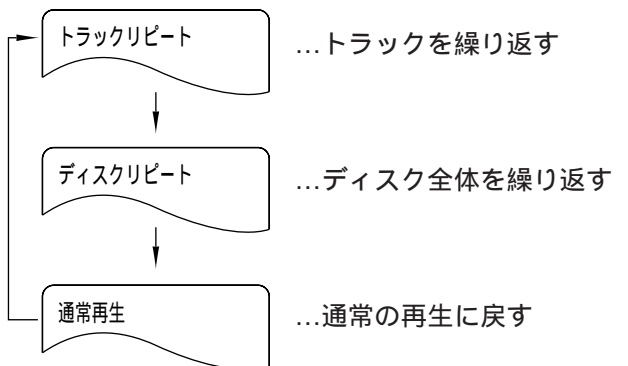
再生中、
REPEAT ボタンを押す

(押すごとにテレビ画面の表示が切り換わり、
それぞれの繰り返し再生を始めます)

DVDの場合

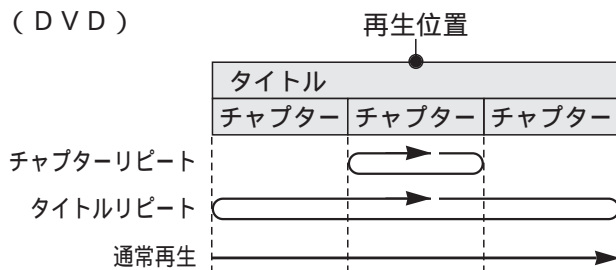


ビデオCD / 音楽CDの場合

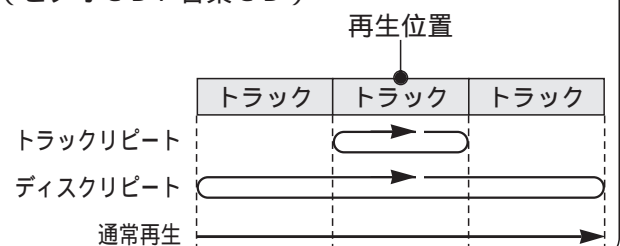


ご参考

チャプター / タイトルリピート再生とは
(DVD)



トラック / ディスクリピート再生とは
(ビデオCD / 音楽CD)



ご注意

リピート再生が働かないDVDもあります。
再生中、ディスプレイに再生経過時間が表示されて
いないディスクは、リピート再生できません。

通常の再生に戻すときは
テレビ画面に“通常再生”と表示されるまで、
REPEAT ボタンを押します。

指定した2点間を繰り返し再生する (A - Bリピート再生)

テレビ画面の表示

1 再生中、
A-B ボタンを押す

(開始場所Aが指定されます)

A -

2 もう一度、
A-B ボタンを押す

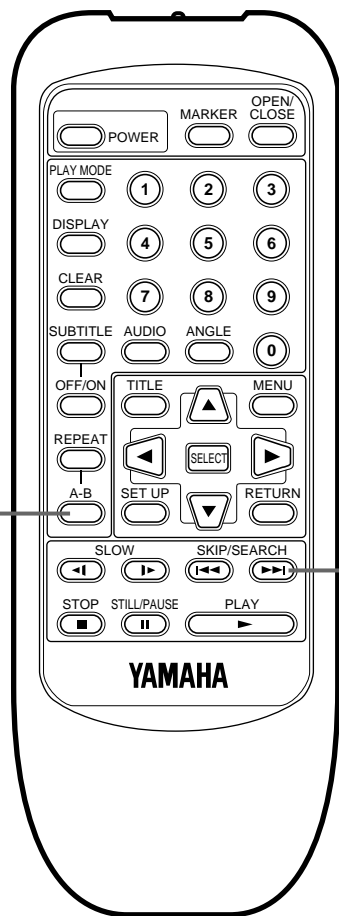
(終了場所Bが指定され、
A B間の繰り返し再生が
始まります)

A - Bリピート

お知らせ

SKIP/SEARCH ボタン (送り方向のみ) を押し続けて、早送りした後、終了場所Bを指定することもできます。

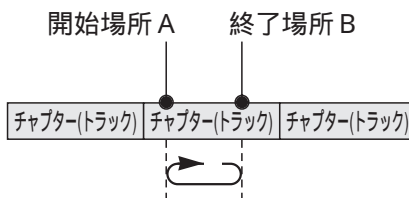
1
2



SKIP/SEARCHボタン

ご参考

A - B リピート再生とは



A - B リピート再生は、同一チャプター(トラック)内でのみ働きます。

ご注意

A - B リピート再生は、A B間の前後の字幕が表示されないことがあります。
再生中、ディスプレイに再生経過時間が表示されていないDVDは、A - B リピート再生できません。

通常の再生に戻すときは
A - B ボタンを押します。
(テレビ画面に“通常再生”と表示されます。)

テレビ画面の表示

通常再生

好きな順に再生する (プログラム再生) ビデオCD 音楽CD

ディスクに記録されているトラックを、見たい(聞きたい)順に予約して再生することができます。

1 停止中、
PLAY MODE
ボタンを押す
(プログラム再生画面
が表示されます)

2 カーソルボタンで、
予約したい
トラック番号を
選ぶ

3 **SELECT** ボタ
ンを押す
(選んだ番号が記憶さ
れます)

4 **PLAY** ボタンを押す
(予約した順に再生が始まります)

お知らせ

テレビ画面に“▼”や“▶”が表示されているときは、トラック番号に続きがあります。その方向のカーソルボタンを押すごとに、続きが表示されます。

予約したすべての再生が終了したときは停止して、プログラム再生画面に戻ります。

通常の再生に戻すには
STOP ボタンを押してプログラム再生を止め、
PLAY MODE ボタンを押します。
PLAY ボタンを押すと、止めたところから通常の再生が始まります。(予約番号はそのまま記憶されます)

予約を1つずつ取り消すには
STOP ボタンを2回押して、プログラム再生画面を表示します。CLEAR ボタンを押すごとに、最後に予約したもののから順に取り消されます。

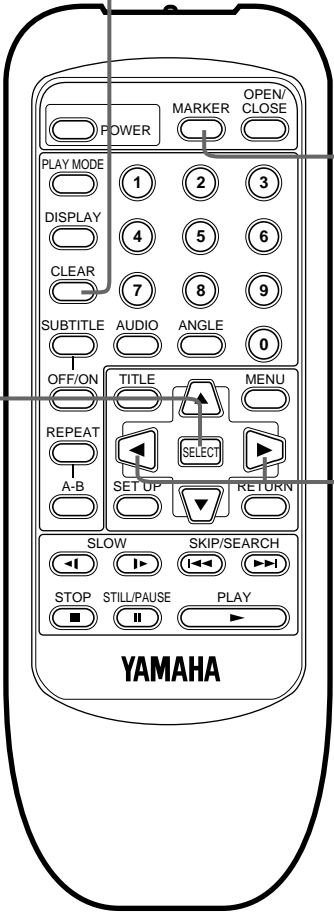
予約をすべて取り消すときは
電源を切るか、本機からディスクを取り出すと、すべて取り消されます。

再び見たい場面を記憶する

(マーカー)

DVD

再び見たい場面にマークを付けておくと、いつでもそこから再生を始められます。



CLEARボタン

マークを付ける

1 再生中、
MARKER ボタンを押す
(マーカー画面が表示されます)

テレビ画面の表示
マーカー
* * *
選択 ボタンでマークできます

2 記憶したい場面で、
SELECT ボタンを押す
最大3カ所までマークできます。

マーカー
1 * *
選択 ボタンでマークできます

マークを付けた場面を呼び出す / 取り消す

1 再生中、マーカー画面が表示されていない場合は、
MARKER ボタンを押す
(マーカー画面が表示されます)

マーカー
1 2 3
選択 ボタンでマーク再生
クリア ボタンでマーククリア

2 カーソル (◀ ▶) ボタンで、
マーク番号を選ぶ

マーカー
1 2 3
選択 ボタンでマーク再生
クリア ボタンでマーククリア

選んだマーク番号を再生するときは
SELECT ボタンを押します。
(選んだマーク場面まで戻り、再生が始まります)

選んだマーク番号を取り消すときは
CLEAR ボタンを押します。
(選んだマーク場面が取り消されます)

マーカー
1 □ 3
選択 ボタンでマーク再生
クリア ボタンでマーククリア

ご注意

マーカーを付けた場所によっては、字幕が表示されることがあります。
再生中、ディスプレイに再生経過時間が表示されていないDVDは、マーカー機能が使えません。
電源を切るか、トレイを開くまで、マーク番号は記憶されています。

音声言語を切り換える (マルチ音声) DVD

複数の音声言語が記録されている DVD は、再生中、音声言語を切り換えることができます。



1 再生中、AUDIO ボタンを押す
(現在再生中の音声番号が表示されます)

2 カーソル (▲▼) ボタンで、好みの言語にする
数回押して、希望の言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。AUDIO ボタンを押すと、表示が消えます。

テレビ画面の表示

音声 : 1
こんにちは

音声 : 3
Hello, everyone

ご注意

電源投入時およびディスク交換時は、初期設定 (P. 33 ページ) で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。

カラオケソフトのボーカルを「切」「入」する DVD ビデオCD



1 再生中、AUDIO ボタンを押す
(現在再生中の音声状態が表示されます)

2 カーソルボタンで、音声を切り換える
AUDIO ボタンを押すと、表示が消えます。

	DVD(カラオケ)のとき	ビデオCDのとき
	音声 : 1 ボーカル 切	音声 : ステレオ
	音声 : 1 ボーカル 切	音声 : ステレオ
	▶ ↓ ↑ ◀	▼ ↓ ↑ ▲
	音声 : 1 ボーカル 入	音声 : R
		▼ ↓ ↑ ▲
		音声 : L

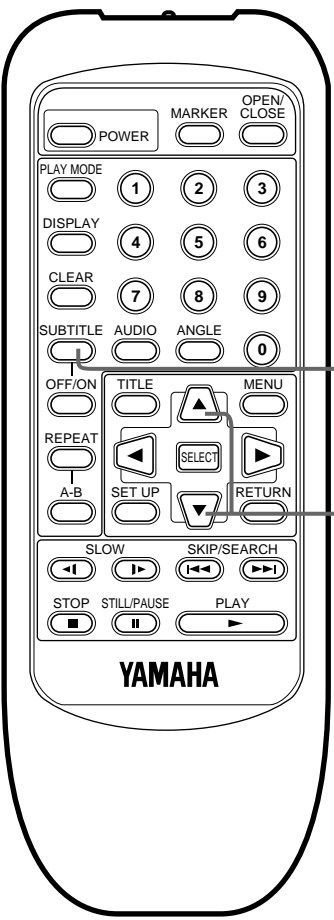
ご注意

音楽 CD は、ボーカルの「切」「入」ができません。

字幕言語を切り換える (マルチ字幕)

DVD

複数の字幕言語が記録されている DVD は、再生中、字幕言語を切り換えることができます。



1 再生中、
SUBTITLE ボタンを押す
(現在再生中の字幕番号が表示されます)

2 カーソル (▲▼) ボタンで、
好みの言語にする

字幕言語が記録されていないときは、
字幕番号が “ ** ” で表示されます。

数回押して、希望の言語にならないときは、
その言語がディスクに記録されていません。
SUBTITLE ボタンを押すと、表示が消えます。

テレビ画面の表示

字幕 : □□入

字幕 : 1

字幕 : 3

Love you

ご注意

電源投入時およびディスク交換時は、初期設定 (33 ページ) で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
字幕言語を変更しても、すぐに切り換わらない場合があります。

字幕を消す / 表示する

DVD

再生中、字幕を消したり、表示したりすることができます。



再生中、
OFF/ON ボタンを押す

押すごとに、テレビ画面の表示が
「切」「入」と切り換わります。

テレビ画面の表示

字幕 : □□入

字幕 : □□切

OFF/ONボタン

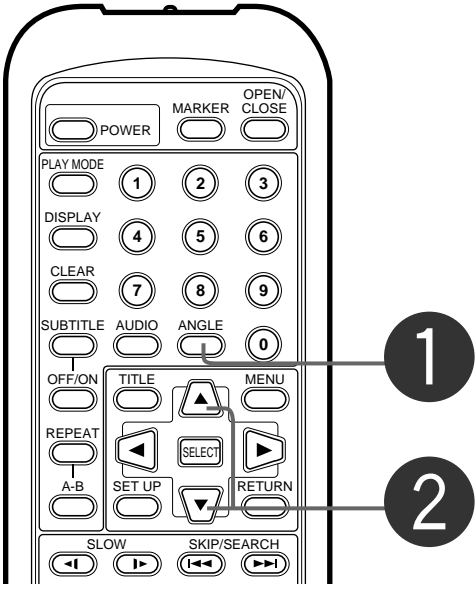
機能を使う

アングル（角度）を切り換える

（マルチアングル）

DVD

複数のアングルから撮影された場面が記録されているDVDは、アングルを切り換えることができます。本書では、アングルの一般的な切り換えかたを紹介します。



1 再生中、
ANGLE ボタンを押す
(アングル番号が表示されます)

2 カーソル(▲▼)ボタンで、
好みのアングルにする
ANGLE ボタンを押すと、
表示が消えます。

テレビ画面の表示

アングル : 1

アングル : 3

アングル : 2

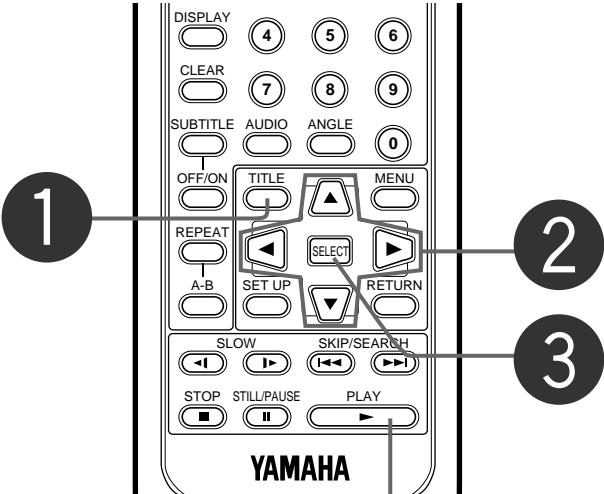
ご注意

マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されているディスクに働きます。ディスプレイに“ANGLE”が点灯しているDVDは、アングルを切り換えることができます。ディスクによっては、アングルが切り換わるまで多少時間がかかることがあります。

タイトルを切り換える

DVD

複数のタイトルが入っているDVDは、タイトルメニューからお好みのタイトルを選び再生することができます。



1 再生中、
TITLE ボタンを押す
(タイトルメニューが表示
されます)
もう一度押すと、タイトルメニューを呼び出し
た場面まで戻り、そこから再生されます。

2 カーソルボタンで、
好みのタイトルにする
TITLE ボタンを押すと、
表示が消えます。

3 **SELECT ボタンを押す**
(再生が始まります)
PLAY ボタンを押しても、再生が始まります。

テレビ画面の表示

タイトル メニュー

地理	自然
歴史	都市

タイトル メニュー

地理	自然
歴史	都市

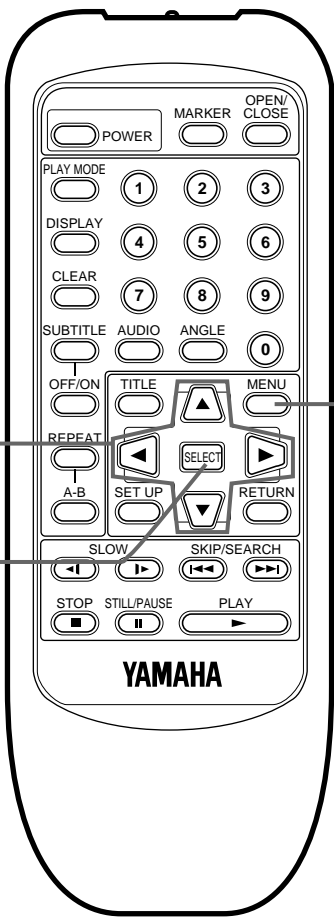
PLAYボタン

DVDメニューを使う

DVD

DVDによっては、DVDメニューと呼ばれる特別なメニューが準備されているものがあります。例えば、複雑な内容で編集されたDVDでは、ガイドメニューが準備されたり、多言語で収録されたDVDでは、音声や字幕の言語メニューが準備されるでしょう。

これらのメニューをDVDメニューと呼び、本書では、DVDメニューの一般的な操作方法を紹介します。



1 再生中、
MENU ボタンを押す

(DVDメニューが表示されます)
もう一度押すと、DVDメニューを呼び出した場面まで戻り、そこから再生されます。

テレビ画面の表示例)
DVDメニュー
1. サブタイトル
2. オーディオ
3. アンクル

2 カーソルボタンで、
項目を選ぶ

例) オーディオを選んだとき
DVDメニュー
1. サブタイトル
2. オーディオ
3. アンクル

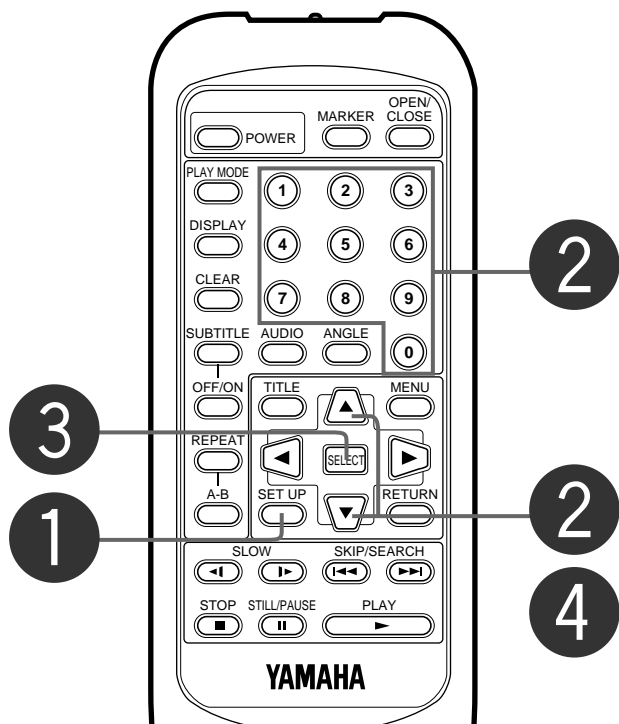
3 **SELECT** ボタンを押す

(選んだ項目が決定されます)

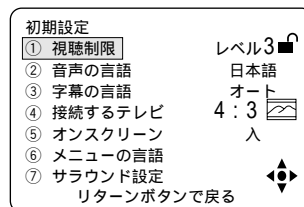
次々とメニューを表示するときは、**2** **3**を繰り返します。

初期設定を変更する

工場出荷時（☞ 33、34、35 ページ）にあらかじめ設定されている初期設定を変更することができます。例えば、英語の音声で DVD を再生したいときは、以下の操作で「②音声の言語」を変更してください。（初期設定は、電源を切っても、次に変更するまで記憶されます）



1 停止中、
SET UP ボタンを押す
（初期設定画面が表示されます。）



2 カーソル（▲▼）ボタンまたは数字ボタンで、
設定したい項目を選ぶ
①～⑦のいずれかを選んでください。

3 **SELECT** ボタンを押す
（選んだ項目の内容が表示されます
☞ 33 ページ）

「①視聴制限」

お子様などに見せたくない成人向け DVD ソフトの再生を禁止することができます。ディスクのラベル印刷面などに例えば“成人向け”と書かれていても、ディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合、視聴制限は働かず再生を禁止できません。

「②音声の言語」

お好みの音声言語で再生することができます。
（選んだ言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります）

「③字幕の言語」

お好みの字幕言語で再生することができます。
（選んだ言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります）

「④接続するテレビ」

接続したテレビ画面のサイズ（4：3または16：9）を設定できます。

「⑤オンスクリーン」

ボタン操作したときの“再生”や“オープン”などのメッセージをテレビ画面に常に表示させたり、消したりすることができます。

「⑥メニューの言語」

以下の2種類のメッセージをお好みの言語に設定することができます。
オンスクリーンの言語：“プログラム再生”などで使われる画面メッセージ
ディスクメニューの言語（☞ 34 ページ）：ディスクに収録されている“DVDメニュー”などで使われる画面メッセージ

「⑦サラウンド設定」

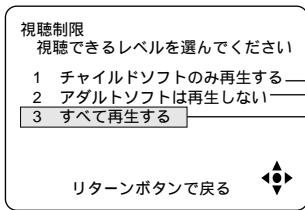
サラウンド設定時に、お使いになるスピーカーシステムの設定ができます。

4

カーソル () ボタンで、設定したい内容を選ぶ

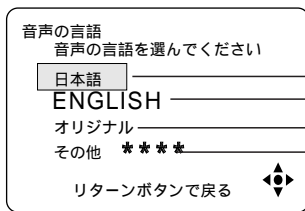
工場出荷時：テレビ画面中の 

① を選んだとき



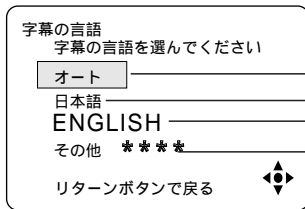
- 子供向けの DVD ソフトのみ再生したいとき選ぶ (成人向け / 一般向けソフトの再生を禁止する)
- 一般向けと子供向けの DVD ソフトのみ再生したいとき選ぶ (成人向けソフトの再生を禁止する)
- すべての DVD ソフト (成人向け / 一般向け / 子供向け) を再生したいとき選ぶ

② を選んだとき



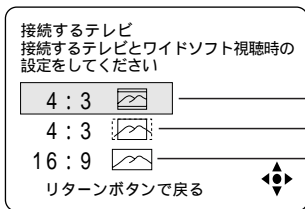
- 日本語の音声で再生したいとき選ぶ
- 英語の音声で再生したいとき選ぶ
- ディスク内の最優先言語の音声で再生したいとき選ぶ
- 日本語、英語、オリジナル以外の音声で再生したいとき選ぶ
- 「その他 * * * *」を選んだときは、番号ボタンで 39 ページの言語番号 (4 ケタ) を入力してください。

③ を選んだとき

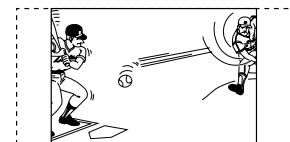
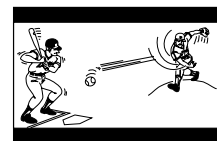


- 「② 音声の言語」で選んだ言語に字幕の言語を自動設定します。
- 音声で「② 音声の言語」で設定された言語で再生されたときは、字幕を表示しません。
- 音声で「② 音声の言語」で設定された言語で再生されなかったときは、その言語で字幕を表示します。
- 日本語の字幕で再生したいとき選ぶ
- 英語の字幕で再生したいとき選ぶ
- オート、日本語、英語以外の字幕で再生したいとき選ぶ
- 「その他 * * * *」を選んだときは、番号ボタンで 39 ページの言語番号 (4 ケタ) を入力してください。

④ を選んだとき



- 従来サイズのテレビに接続したときに選ぶ
ワイドソフトは、レターボックス (上下に黒い帯のある画面) で再生されます。
- 従来サイズのテレビに接続したときに選ぶ
パン&スキャン (左右の切れた画面) 指定のあるワイドソフトは、パン&スキャンで再生されます。
(パン&スキャン指定のないワイドソフトは、レターボックスで再生されます)
- ワイドテレビに接続したときに選ぶ
ワイドソフトは、フル画面で再生されます。
(ワイドテレビの画面モードを“フル”にしてください)



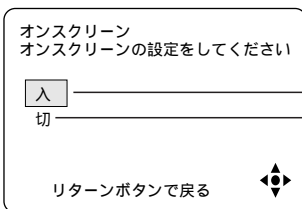
操作につづきがあります。
34 ページをご覧ください。

⑤、⑥、⑦を選んだときは34ページをご覧ください。

その他

初期設定を変更する (つづき)

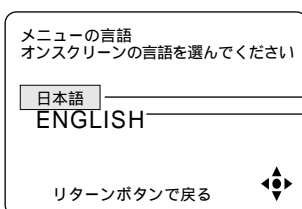
⑤
を選んだとき



ボタン操作するたびにメッセージをテレビ画面に表示させたいとき選ぶ

ボタン操作してもメッセージをテレビ画面に表示させないとき選ぶ

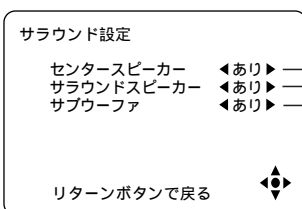
⑥
を選んだとき



日本語のメッセージで表示したいとき選ぶ

英語のメッセージで表示したいとき選ぶ

⑦
を選んだとき



センタースピーカーをお使いにならないときは「なし」にする

サラウンドスピーカーをお使いにならないときには「なし」にする

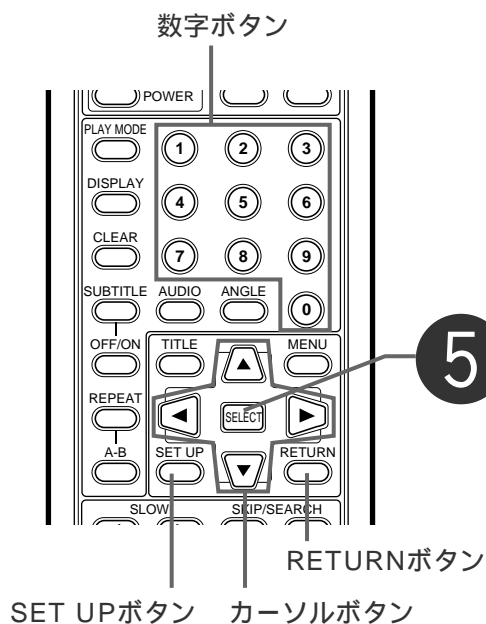
サブウーファーをお使いにならないときは「なし」にする

14、15 ページの接続をしたとき、必要に応じて設定してください。

「なし」「あり」の切り換えは、カーソル (◀▶) ボタンと SELECT ボタンで行います。

5 SELECT ボタンを押す

- 「② 音声の言語」
 - 「③ 字幕の言語」
 - 「④ 接続するテレビ」
 - 「⑤ オンスクリーン」
- 設定が完了し、初期設定画面へ戻ります。
- 「① 視聴制限」
 - 「⑥ メニューの言語」
- 設定につづきがあります。⑥の手順へお進みください。
- 「⑦ サラウンド設定」は、RETURN ボタンを押して設定を完了します。(初期設定画面に戻ります。)



一つ手前のメニューに戻すときは RETURN ボタンを押します。

初期設定を終了するときは 初期設定画面で RETURN ボタンを押します。

「①視聴制限」のつづき

視聴制限
視聴制限をレベル1までに設定しました
ロックするときは暗証番号4ケタを
入力してください

****  
リターンボタンで戻る

設定内容をロックしないときは

1 RETURN ボタンを押す

(設定が終了し初期設定画面に戻ります)

設定内容をロックするときは

ロックすると、正しい暗証番号を入力しない限り、
設定内容の変更はできなくなります。

1 数字ボタンで

暗証番号(4ケタ)
を入力する

暗証番号は忘れない
ようにしてください。

1234  
リターンボタンで戻る

2 SELECT ボタンを押す

視聴制限
視聴制限をレベル1までに設定しました
視聴制限の変更や解除に必要ですから
必ず覚えておいてください

鍵マークが閉まり、
ロックされました


 1234 
リターンボタンで戻る

3 RETURN ボタンを押す

(設定が完了し、初期設定画面に戻ります)

「⑥メニューの言語」のつづき


メニューの言語
ディスクメニューの言語を選んでください

日本語
ENGLISH
その他 **** 
リターンボタンで戻る

日本語のメッセージで
表示したいとき選ぶ
(工場出荷時)

英語のメッセージで表
示したいとき選ぶ

日本語、英語以外のメッ
セージで表示したいと
き選ぶ

1 カーソル() ボタンで設定したい内容を選ぶ
「その他 ****」を選んだときは、番号ボタンで
39 ページの言語番号(4ケタ)を入力してください。

2 SELECT ボタンを押す

(設定が完了し、初期画面に戻ります)

「①視聴制限」のロックを解除するときは

1 初期設定画面が表示されていなければ SET UP ボタンを
押す

2 数字ボタンの 1 を押し、SELECT ボタンを押す

3 数字ボタンで、正しい暗証番号(4ケタ)を入力する

4 SELECT ボタンを押す

(ロックが解除され、手順④の画面が表示されます)

故障かなと思ったら

本機を使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しないとき、あるいは下記以外で何らかの異常が認められましたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点に、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	12
勝手に電源が切れる	停止状態で約30分経過すると自動的に電源が切れず（オートパワーオフ）。再度電源を入れ直してください。	19
再生ボタンを押しても、再生が始まらない、またはすぐに停止する	露付きが発生している。（1～2時間放置してください） DVD、ビデオCD、音楽CD以外のディスクは再生できません。 ディスクがよごれているので、きれいにふいてください。 ラベル印刷面を上にして、正しく入れてください。	6 7 7 18・19
映像が映らない	接続を確認してください。 テレビの入力切換を「ビデオ」にしてください。	12 18
音が聞こえない、または聞きづらい	接続を確認してください。 テレビ、ステレオなどの入力切換を正しくしてください。 静止（一時停止）スロー再生中などは聞こえません。	12 — 21
ビデオCDのメニュー再生ができない	プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。	19
早送り/早戻しをしたら画像が乱れる	多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。	—
各ボタン操作ができない	ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。	—
アングルを変えて見るできない	複数のアングルが記録されていないDVDはアングルを切り換えることができません。また、複数のアングルは特定の場面のみ記録されているものがあります。	30
タイトルを選んでも再生が始まらない	「視聴制限」の設定を確認してください。	32～35
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた	以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 停止状態で、本体の◀◀ ボタンと■ ボタンを押しながら、POWER ボタンを3秒以上押し続けてください。 （テレビ画面の“オールクリア”が消えたことを確認してください）	—
字幕が出ない	字幕のついていないDVDは字幕が表示されません。 OFF/ON ボタンを押して「入」にする。	29 29
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない	DVDにその音声や字幕が入っていないときは、選んでいる言語になりません。	32～34
4:3(16:9)の画像で映らない	お手持ちのテレビに合わせて、「接続するテレビ」の項目を正しく設定してください。	32～34

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
ボタン操作したとき、画面メッセージが出ない	「オンスクリーン」の設定を「入」にしてください。	32 ~ 34
希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない	「メニューの言語」の設定を確認してください。	32 ~ 35
音声（または字幕）言語が切り換えできない	複数の言語が入っていないDVDは切り換えできません。 音声（または字幕）切り換え操作では切り換えできないが、メニュー画面等で切り換えできるディスクもあります。	— 31
サラウンドで聞こえない	「サラウンド設定」の項目を正しく設定してください。	32 ~ 34
再生または録画をすると画像が乱れる	本機はマクロビジョン方式のコピーガードシステムに対応しています。テレビをビデオデッキを経由して接続しているときは、コピーガード信号の入ったDVDディスクは正常な再生、録画ができないことがあります。故障ではありません。	—
本体（またはリモコン）でボタン操作できない	POWER ボタンを一度、「切」「入」してください。 または電源を切って電源プラグを抜き、もう一度差し込んでください。 (落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります)	—
リモコンで操作できない	乾電池は、⊕ ⊖ を確かめて正しく入れてください。 乾電池が消耗しているので、新しいものに交換してください。 リモコン受信窓に向けて操作してください。 リモコン受信窓との距離が7 m以内のところで操作してください。 リモコン受信窓との間にある障害物を取り除いてください。	11 11 11 11 11

サービス番号が表示されたら

本機は使用中に異常を検出すると、ディスプレイにサービス番号を表示します。

サービス番号	本機の状態	処置のしかた
U 1 1	ディスクがよごれている。	きれいにふく。 (処置をしても、表示が消えないときは、修理をご依頼ください)
H は数字を表示します	異常と思われます。 「H」以降の数字は、本機の状態によって変わります。	POWER ボタンを一度、「切」「入」してみる。 または電源を切って電源プラグを抜き、もう一度差し込む。 (処置をしても、表示が消えないときは、修理をご依頼ください)

処置をされても「サービス番号」を表示するときは

お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点に修理をご依頼ください。

修理を依頼されるときは

表示窓のサービス番号をお知らせください。

(例)「H 01」と表示しているときは、「サービス番号、H 01」とお知らせください!

参考仕様

電源	AC 100 V 50 / 60 Hz
消費電力	17 W (電源ボタンで電源「切」のとき、約 2.5 W)
信号形式	NTSC 日米標準信号方式
質量	3.6 kg
外形寸法	幅 435 × 高さ 87.5 × 奥行 284 mm (突起物含まず)
許容周囲温度	+ 5 ~ + 35
許容相対湿度	5 ~ 90 % (結露なきこと)
対応ディスク	(1) DVD - VIDEO ディスク 12 cm 片面 1 層 12 cm 片面 2 層 12 cm 両面 2 層 (各面 1 層) 8 cm 片面 1 層 8 cm 片面 2 層 8 cm 両面 2 層 (各面 1 層) (2) コンパクトディスク (CD - DA、ビデオ CD) 12 cm ディスク 8 cm ディスク
S 映像出力端子 (セパレート Y C 信号出力端子)	Y 出力 : 1 Vp-p (75 負荷時、同期負) C 出力 : 0.286 Vp-p
映像信号出力	1 Vp-p (75 負荷時、同期負)
音声信号出力	200 mVrms (1 kHz、- 20 dB)
音声信号出力特性	DVD リニア音声 (1) 周波数特性 48 kHz サンプリング 4 Hz ~ 22 kHz (EIAJ) 96 kHz サンプリング 4 Hz ~ 44 kHz (EIAJ) (2) S / N 比 106 dB (EIAJ) (3) ダイナミックレンジ 96 dB (EIAJ) (4) ワウフラッター 測定限界以下 (5) 全高調波歪率 0.003 % CD オーディオ (1) 周波数特性 4 Hz ~ 20 kHz (EIAJ) (2) S / N 比 106 dB (EIAJ) (3) ダイナミックレンジ 96 dB (EIAJ) (4) ワウフラッター 測定限界以下 (5) 全高調波歪率 0.003 %

本機は、日本国内専用です。外国では、放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。

本機には、米国特許権とその他知的財産権で保護された著作権保護技術が搭載されています。この著作権保護の技術の使用についてはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、一般家庭およびその他の限られた視聴にのみ許可を受けています。また改造や分解は禁止されています。

言語番号一覧表

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アフアル	7384	イタリア	8376	スロベニア
6566	アプハジア	7387	ヘブライ	8377	サモア
6570	アフリカーンス	7465	日本語	8378	ショナ
6577	アムハラ	7473	イディッシュ	8379	ソマリ
6582	アラビア	7487	ジャワ	8381	アルバニア
6583	アッサム	7565	グルジア	8382	セルビア
6588	アイマラ	7575	カザフ	8385	スンダ
6590	アゼルバイジャン	7576	グリーンランド	8386	スウェーデン
6665	バシキール	7577	カンボジア	8387	スワヒリ
6669	ベロルシア(白ロシア)	7578	カナダ	8465	タミル
6671	ブルガリア	7579	韓国(朝鮮)語	8469	テルグ
6672	ビハール	7583	カシミール	8471	タジク
6678	ベンガル(バングラ)	7585	クルド	8472	タイ
6679	チベット	7589	キルギス	8473	ティグリニア
6682	ブルターニュ	7665	ラテン	8475	トルクメン
6765	カタロニア	7678	リンガラ	8476	タガログ
6779	コルシカ	7679	ラオ	8479	トンガ
6783	チェコ	7684	リトアニア	8482	トルコ
6789	ウェールズ	7686	ラトビア(レット)	8484	タタール
6865	デンマーク	7771	マダガスカル	8487	トウイ
6869	ドイツ	7773	マオリ	8575	ウクライナ
6890	ブータン	7775	マケドニア	8582	ウルドゥー
6976	ギリシャ	7776	マラヤーラム	8590	ウズベク
6978	英語	7778	モンゴル	8673	ベトナム
6979	エスペラント	7779	モルダビア	8679	ヴォラピュック
6983	スペイン	7782	マラッタ	8779	ウォロフ
6984	エストニア	7783	マライ(マレー)	8872	コーサ
6985	バスク	7784	マルタ	8979	ヨルバ
7065	ベルシャ	7789	ビルマ	9072	中国語
7073	フィンランド	7865	ナウル	9085	ズールー
7074	フィジー	7869	ネパール		
7079	フェロー	7876	オランダ		
7082	フランス	7879	ノルウェー		
7089	フリジア	7982	オーリヤ		
7165	アイルランド	8065	パンジャブ		
7168	(スコットランド)ゲール	8076	ポーランド		
7176	ガリチア	8083	パシュト		
7178	グアラニー	8084	ポルトガル		
7185	グジャラト	8185	ケチュア		
7265	ハウサ	8277	レトロマンズ		
7273	ヒンディー	8279	ルーマニア		
7282	クロアチア	8285	ロシア		
7285	ハンガリー	8365	サンスクリット		
7289	アルメニア	8368	シンド		
7365	インターリングア	8372	セルボクロアチア		
7378	インドネシア	8373	シンハラ		
7383	アイスランド	8375	スロバキア		

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

- 技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テーブルデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境或使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口
AVお客様ご相談センター
TEL (03) 5488 - 5500

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

- 北海道 〒064-0810 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108
- 仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434 - 3100
- 東京 (お持ち込み修理のみ取扱い)
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL (03) 5488 - 6625
- 浜松 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 877 - 5262
- 広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787
- 四国 〒760-0029 高松市丸龜町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内
TEL (0878) 22 - 3045
- 九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1
AV機器事業部
営業部 TEL (053) 460 - 3451
品質保証室 TEL (053) 460 - 3405
住所および電話番号は変更になることがあります。

YAMAHA

VQT-7046-1